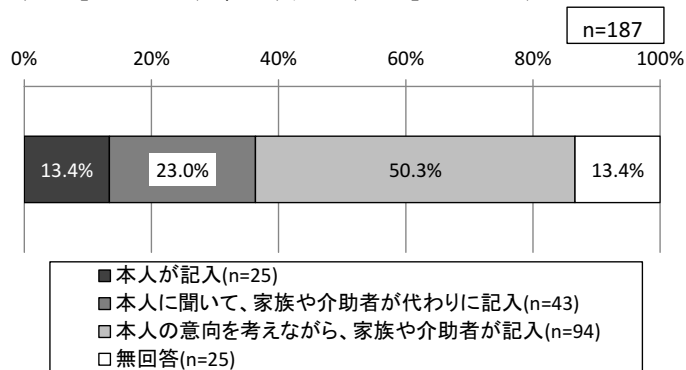


調查結果 II. 知的障害者

問1 この用紙(調査票)に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

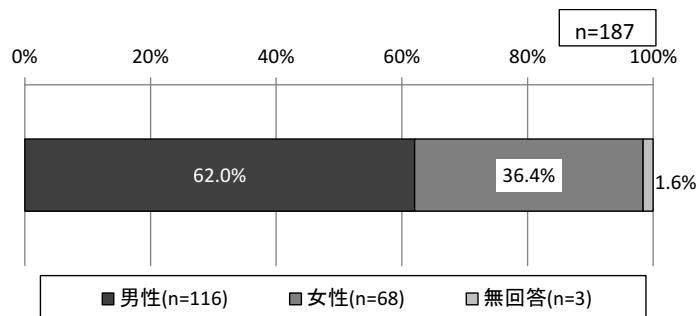
記入者については、「本人の意向を考えながら、家族や介助者が記入」が 50.3%、「本人に聞いて家族や介助者が代わりに記入」が 23.0%、「本人が記入」が 13.4%となっています。



《あなた(宛名の方)の性別・年齢などについて》

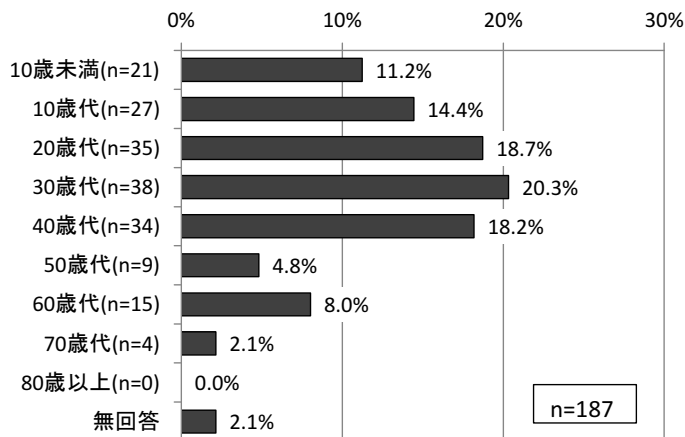
問2 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が 62.0%、「女性」が 36.4%となっています。



問3 年齢(9月1日現在)を記入してください。

年齢については、「30歳代」が 20.3%と最も高く、次いで「20歳代」が 18.7%、「40歳代」が 18.2%となっています。



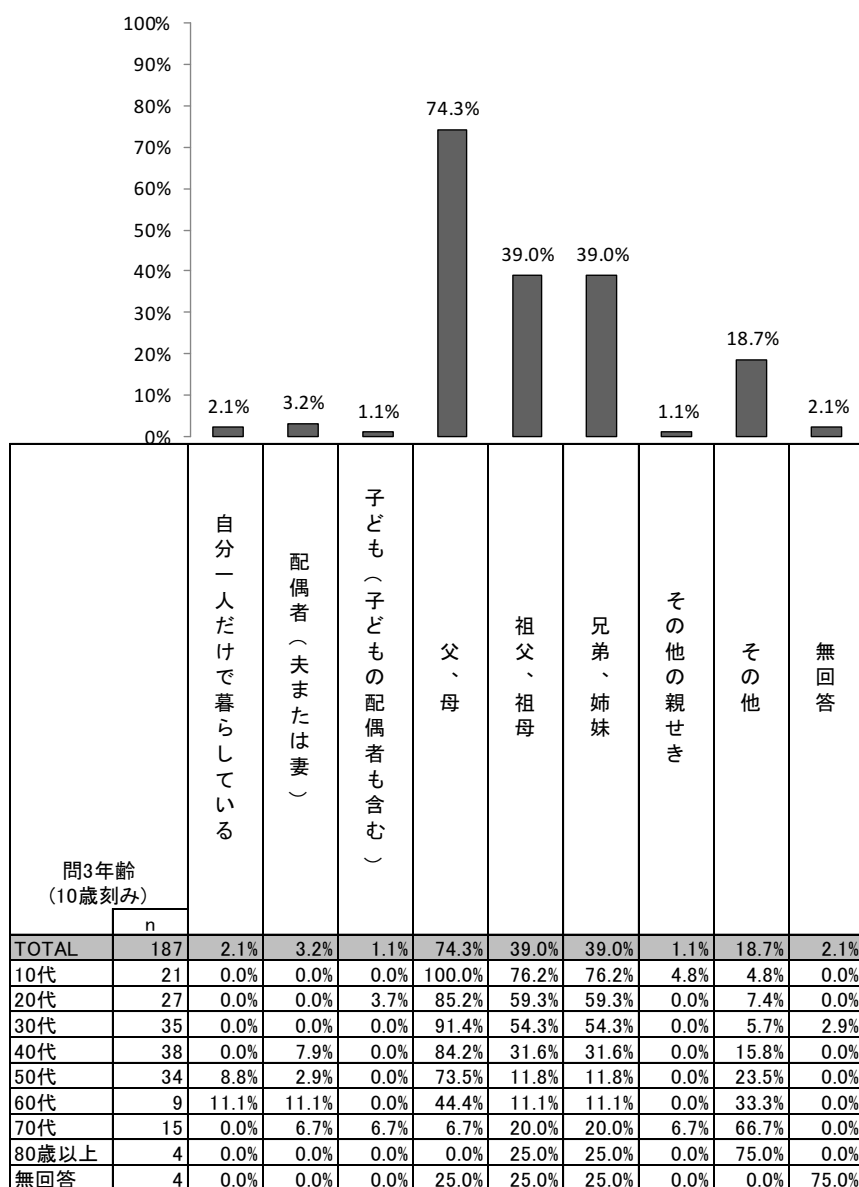
問4 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(〇は1つ)

暮らしている場所については、「自宅」が78.6%と最も高くなっています。

n=187	自宅 (n=147)	グループ ホーム (n=10)	病院に入院 している (n=1)	施設に入所 している (n=25)	その他(n=1)	無回答 (n=3)
	78.6%	5.3%	0.5%	13.4%	0.5%	1.6%

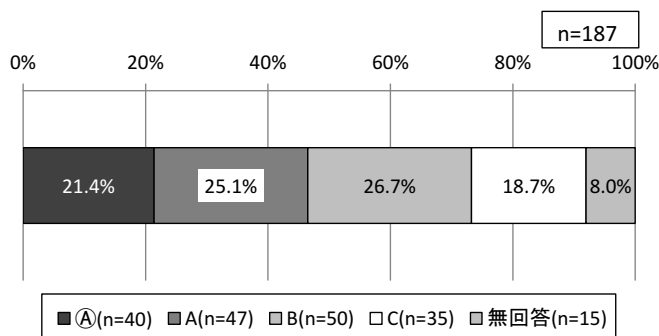
問5 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

同居家族については、「父、母」が74.3%と最も高く、次いで「祖父、祖母」「兄弟、姉妹」が39.0%となっています。



問6 お持ちの療育手帳の程度をおたずねします。(○は1つ)

「療育手帳」に記載された障害の程度は、「B」が26.7%と最も高く、次いで「A」が25.1%、「A」が21.4%、「C」が18.7%となっています。

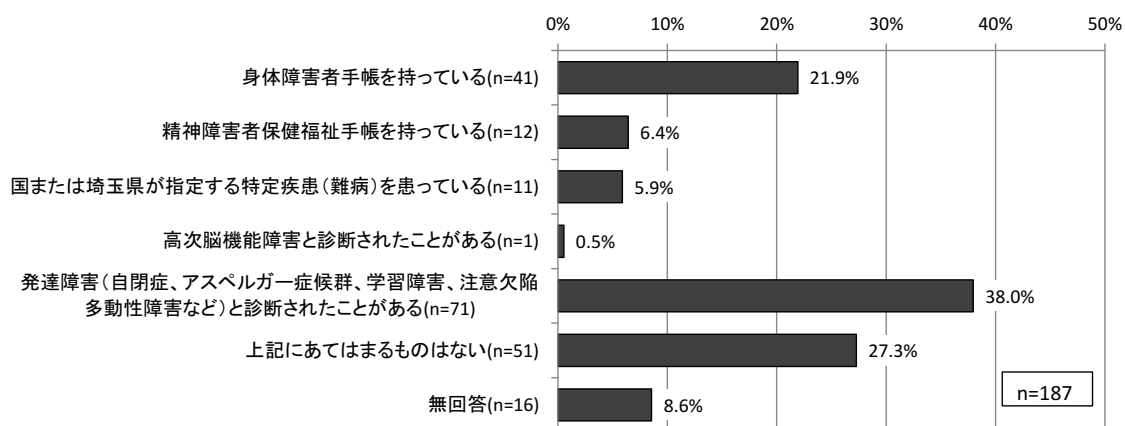


《 障 害 の 状 況 に つ い て 》

問7 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

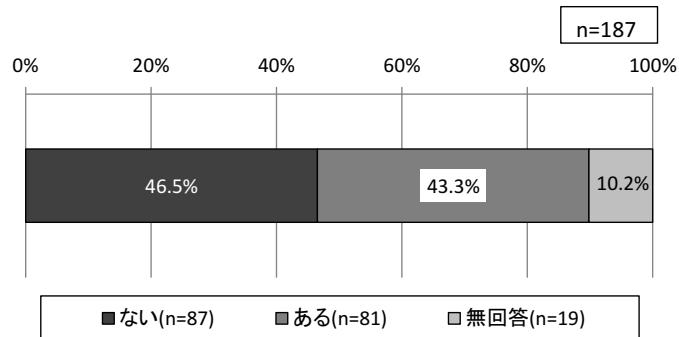
「発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など)と診断されたことがある」が38.0%と最も高く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が21.9%となっています。

また「上記にあてはまるものはない」は27.3%となっています。

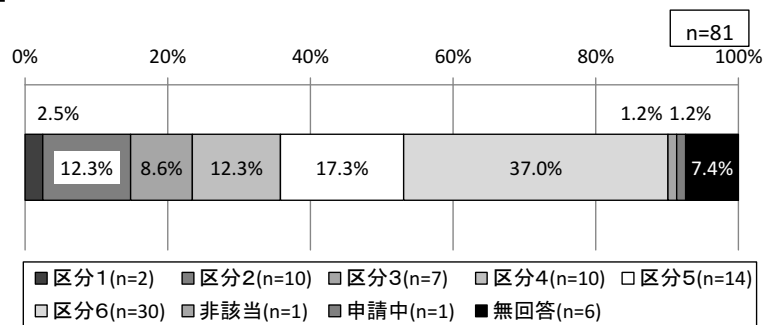


問8 あなたは、障害者総合支援法に基づく介護給付を受けるために「障害支援区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

「障害支援区分」の認定を受けたことが「ある」人は43.3%となっています。また、区分としては、「区分6」が37.0%と最も高く、次いで「区分5」が17.3%、「区分2」、「区分4」がともに12.3%となっています。



【障害支援区分内訳】



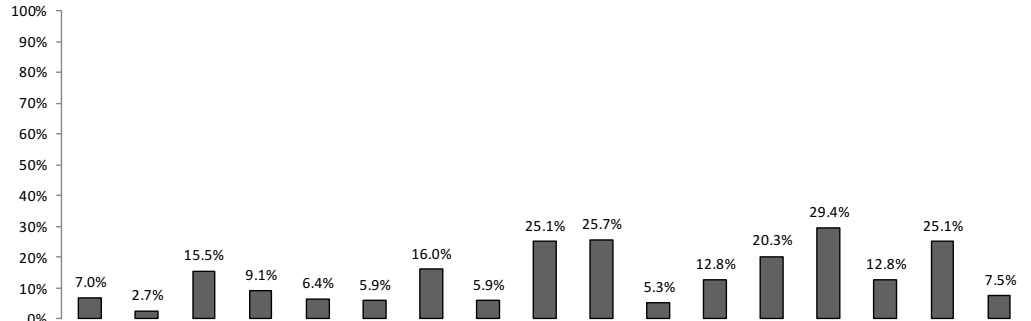
【療育手帳の障害程度と認定区分との関係】

	n	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	非該当	申請中	無回答
(A)	25	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	8.0%
A	28	3.6%	10.7%	14.3%	10.7%	25.0%	28.6%	3.6%	0.0%	3.6%
B	16	0.0%	25.0%	6.3%	25.0%	0.0%	31.3%	0.0%	0.0%	12.5%
C	4	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

問9 現在の生活で困っていることや悩んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

現在の生活で困っていることや悩んでいることについては、「休日の過ごし方」が29.4%と最も高く、次いで「公共の乗り物の利用が難しい」が25.7%、「外出がしにくい」が25.1%となっています。

また、「特にない」は25.1%となっています。



問7主な障害	n	介助を手伝ってくれる人がいない	十分な教育が受けられない	気軽に相談するところがない	訓練が十分にできない	住んでいる家で使いにくいところがある	働く場がない	生活費が足りない	結婚について	外出がしにくい	公共の乗り物の利用が難しい	医療費が多くなる	診療してくれる医療機関が少ない	周りの人の理解が少ない	休日の過ごし方	その他	特にない	無回答	
TOTAL	187	7.0%	2.7%	15.5%	9.1%	6.4%	5.9%	16.0%	5.9%	25.1%	25.7%	5.3%	12.8%	20.3%	29.4%	12.8%	25.1%	7.5%	
身体障害者手帳を持っている	41	12.2%	4.9%	12.2%	17.1%	7.3%	2.4%	9.8%	4.9%	29.3%	29.3%	4.9%	9.8%	12.2%	24.4%	19.5%	24.4%	4.9%	
精神障害者保健福祉手帳を持っている	12	8.3%	8.3%	25.0%	8.3%	16.7%	33.3%	41.7%	8.3%	25.0%	25.0%	0.0%	8.3%	25.0%	25.0%	8.3%	25.0%	8.3%	
国または埼玉県が指定する特定疾患(難病)を患っている	11	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	
高次脳機能障害と診断されたことがある	1	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
発達障と診断されたことがある	71	4.2%	2.8%	21.1%	7.0%	7.0%	7.0%	16.9%	8.5%	23.9%	26.8%	5.6%	19.7%	28.2%	39.4%	15.5%	18.3%	7.0%	
上記にあてはまるものはない	51	7.8%	0.0%	15.7%	7.8%	3.9%	5.9%	19.6%	7.8%	27.5%	25.5%	5.9%	9.8%	19.6%	29.4%	9.8%	29.4%	3.9%	
無回答	16	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	37.5%	31.3%	
問3年齢(3区分)																			
18歳未満	45	8.9%	4.4%	22.2%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	26.7%	31.1%	8.9%	22.2%	6.1%	37.8%	15.6%	20.0%	4.4%	
18~64歳	129	7.0%	1.6%	14.0%	10.1%	7.0%	8.5%	20.9%	6.2%	24.8%	24.8%	4.7%	10.9%	17.1%	29.5%	11.6%	26.4%	6.2%	
65歳以上	9	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%	

《 介 助 ・ 援 助 の 状 況 に つ い て 》

問10 ふだん、あなたを主に介助・援助しているのはどなたですか。(〇は1つ)

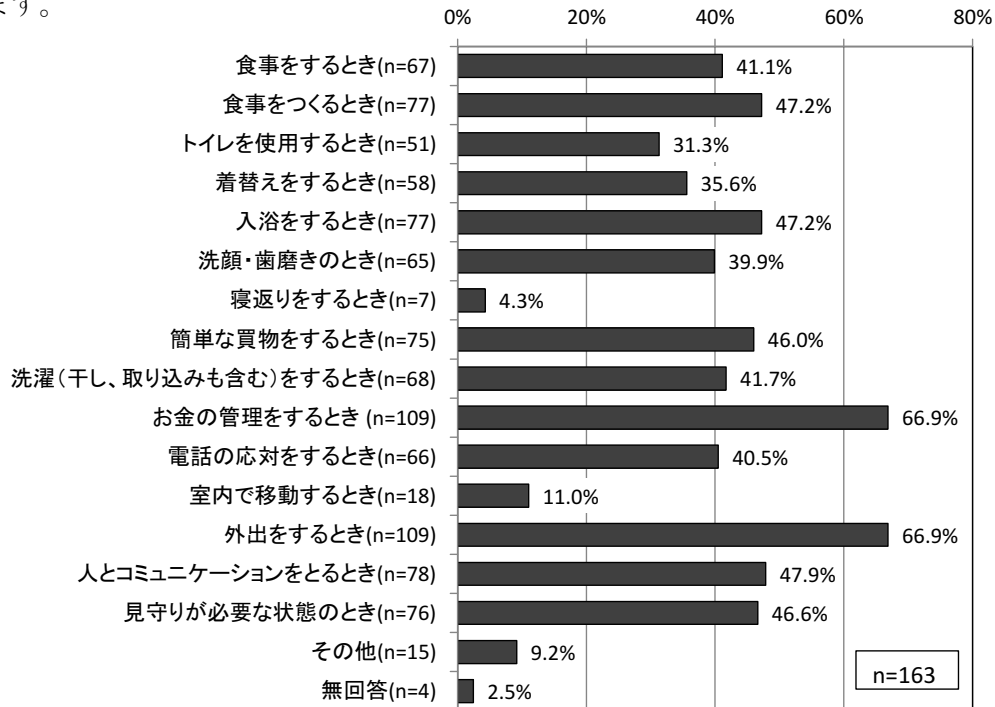
主な介助・援助者については、「親」が63.1%と最も高く、6割以上の方が回答しています。次いで「施設の職員(現在利用している施設の職員)」が16.6%となっています。

問3年齢(10歳刻み)	n	とくに介助・援助は受けていない	親	配偶者	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	そのほかの親せき	近隣の人・知人・友人	ホームヘルパー	ボランティア	施設の職員(現在利用している施設の職員)	その他	無回答
TOTAL	187	10.7%	63.1%	1.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.5%	1.1%	0.0%	0.5%	16.6%	2.1%	2.1%
10代	21	0.0%	95.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	27	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	3.7%
30代	35	17.1%	77.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%
40代	38	10.5%	71.1%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	0.0%
50代	34	14.7%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	23.5%	0.0%	5.9%
60代	9	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
70代	15	0.0%	6.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	6.7%	6.7%
80歳以上	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
無回答	4	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

[介助・援助を受けている方におききます]

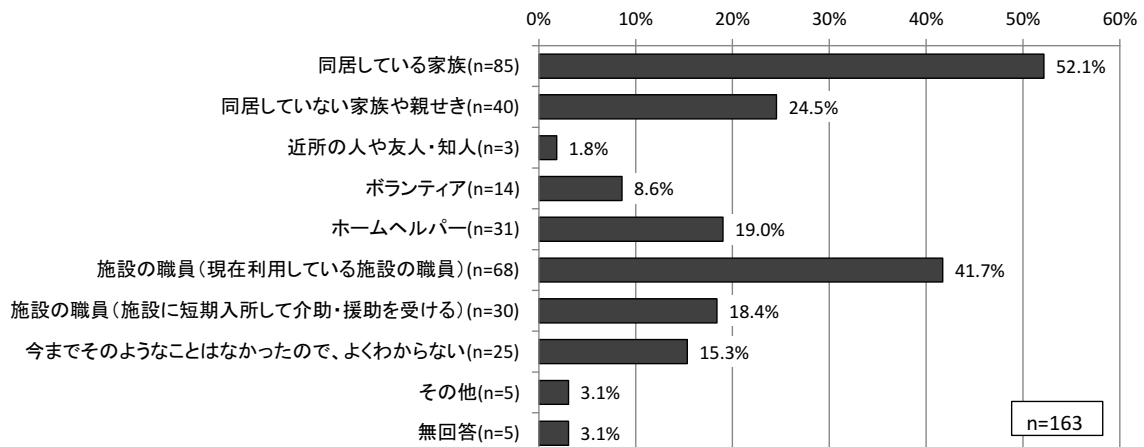
問 11 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

介助・援助を受けている場面としては、「お金の管理をするとき」、「外出をするとき」がともに66.9%と最も高くなっており、「寝返りをするとき」、「室内で移動するとき」以外はすべて3割を超えています。



問 12 あなたを主に介助・援助している方が、病気の時や外出をしなければならないときなどは、代わりに誰に介助・援助してもらいたと思いますか。(○はいくつでも)

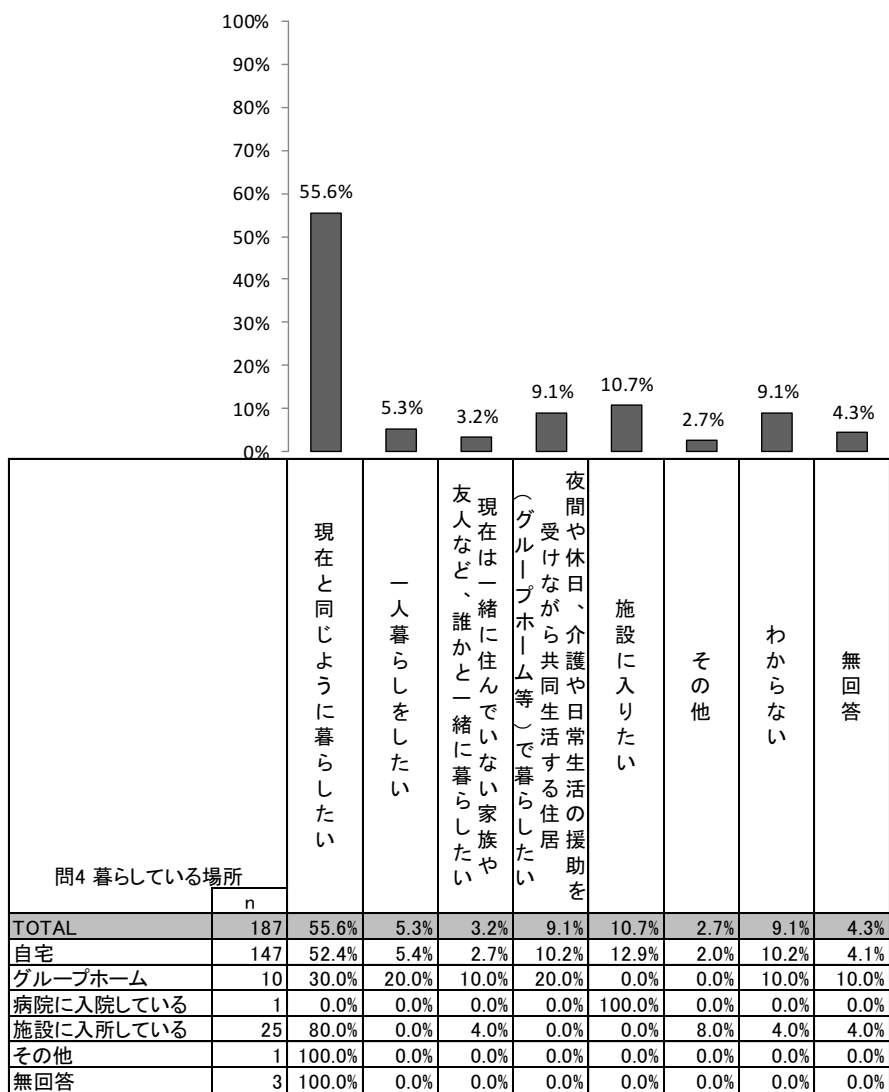
主な介助・援助者が不在のときは、「同居している家族」の介助・援助を希望する人が52.1%と最も高く、次いで「施設の職員(現在利用している施設の職員)」が41.7%となっています。



《 将 来 の 希 望 な ど に つ い て 》

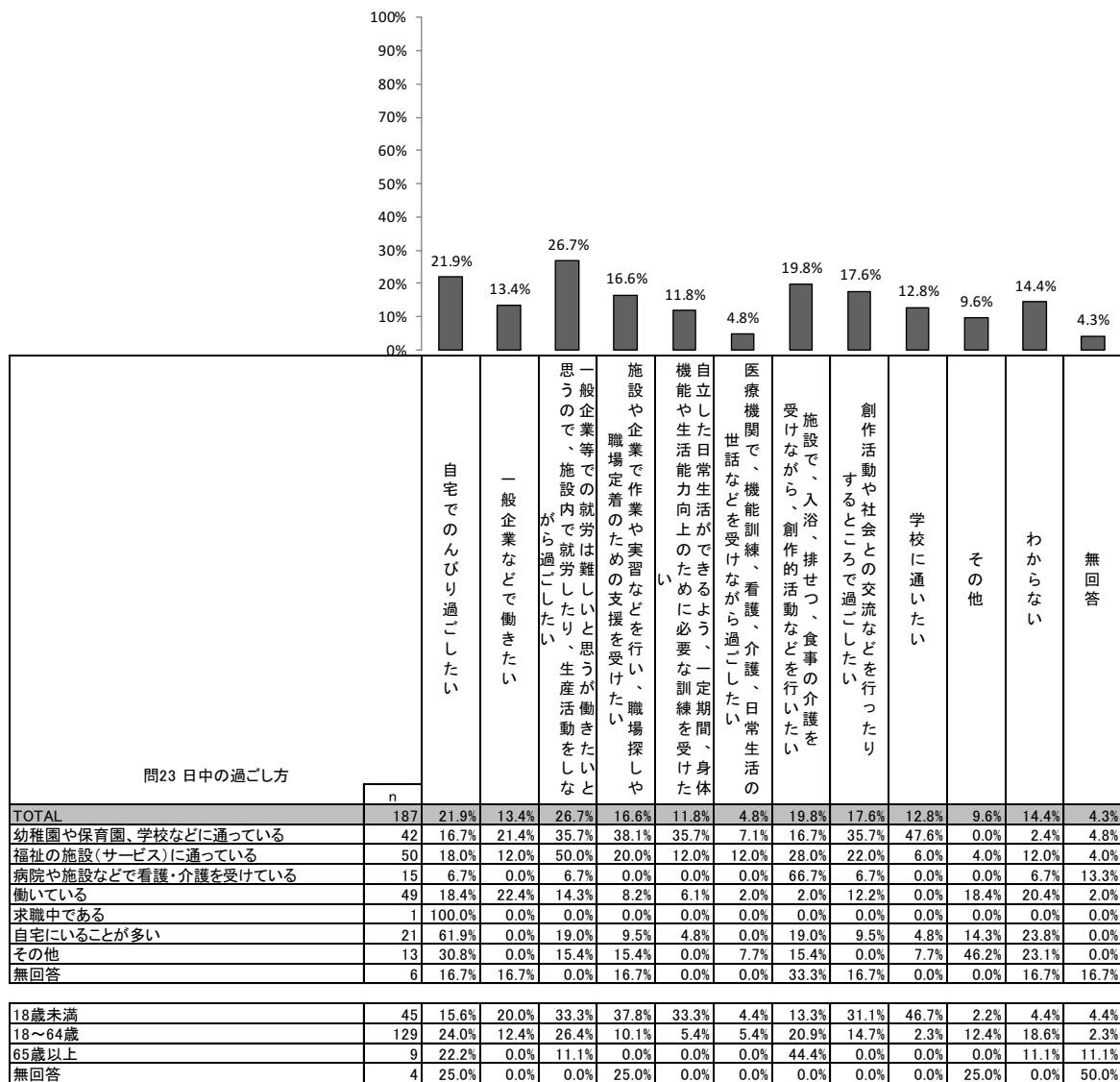
問 13 将来(今後)、あなたはどのように暮らしたいと思いますか。(〇は1つ)

将来(今後)については、「現在と同じように暮らしたい」が55.6%と最も高く、半数以上の方が回答しています。



問 14 今後、どのように日中を過ごしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後の日中の過ごし方については、「一般企業等での就労は難しいと思うが働きたいと思うので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごしたい」が 26.7%と最も高く、次いで「自宅でのんびり過ごしたい」が 21.9%、「施設で入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行いたい」が 19.8%となっています。

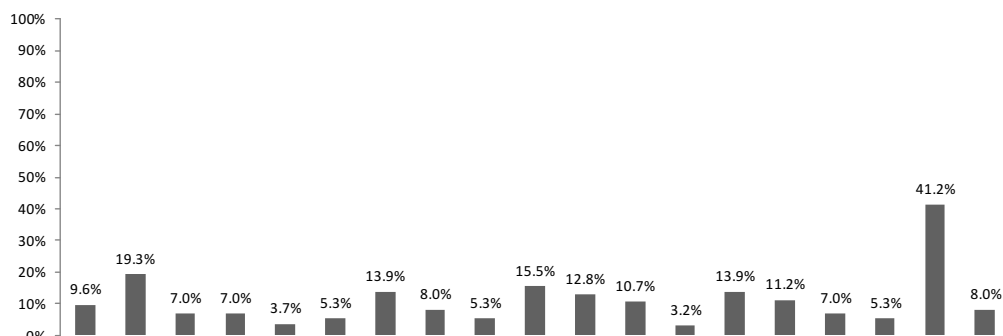


《 健康状態や医療について 》

問 15 健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「専門的な治療を行っている医療機関が身近にない」が19.3%と最も高く、次いで「障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない」が15.5%となっています。

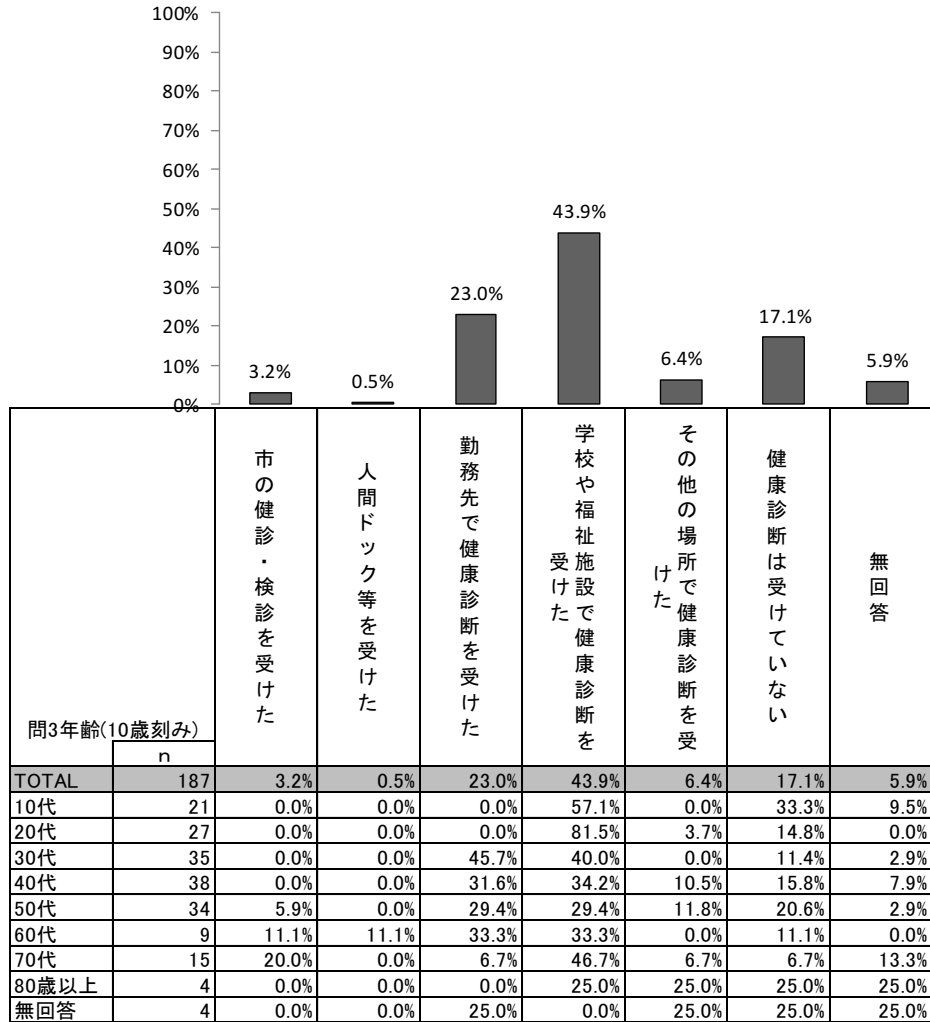
また、「特に困ったり不便に思うことはない」は41.2%となっています。



問7主な障害	n	問15 困りごと																		
		近所に診てくれる医師がいない	専門的な治療を行っていない医療機関が身近にない	通院するときに付き添いをしてくれる人がいない	診療や入院を断られる	治療方針や薬の説明がなく主治医の考えだけで変えられてしまう	患者や親の話を聞いてもらえない	気軽に往診を頼める医師がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	医療スタッフ(医師、看護師等)の障害に対する理解が不十分	入院のとき付き添いや個室を強いられる	入院のとき、個室であればしなくてよい拘束をされてしまう	受診手続きや案内など、障害のある人への配慮が不十分	医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない	医療費の負担が大きい	その他	とくに困ったり不便に思うことはない	無回答
TOTAL	187	9.6%	19.3%	7.0%	7.0%	3.7%	5.3%	13.9%	8.0%	5.3%	15.5%	12.8%	10.7%	3.2%	13.9%	11.2%	7.0%	5.3%	41.2%	8.0%
身体障害者手帳を持っている	41	9.8%	22.0%	7.3%	7.3%	4.9%	0.0%	12.2%	4.9%	2.4%	9.8%	12.2%	12.2%	4.9%	12.2%	14.6%	9.8%	9.8%	34.1%	7.3%
精神障害者保健福祉手帳を持っている	12	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%
国または埼玉県が指定する特定疾患(難病)を患っている	11	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%	45.5%	18.2%
高次脳機能障害と診断されたことがある	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
発達障と診断されたことがある	71	14.1%	25.4%	5.6%	7.0%	1.4%	4.2%	19.7%	8.5%	7.0%	19.7%	12.7%	11.3%	4.2%	16.9%	12.7%	8.5%	5.6%	32.4%	9.9%
上記にあてはまるものはない	51	5.9%	13.7%	11.8%	7.8%	5.9%	9.8%	9.8%	7.8%	5.9%	15.7%	15.7%	11.8%	0.0%	13.7%	7.8%	5.9%	2.0%	54.9%	0.0%
無回答	16	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	56.3%	18.8%

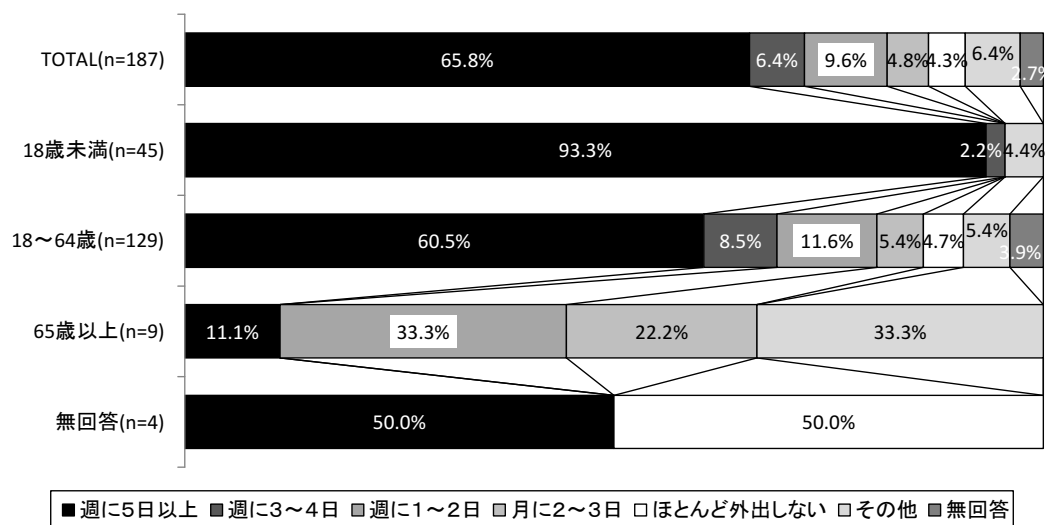
問 16 過去1年間に健康診断(健康診査)を受けましたか。(○は1つ)

過去1年間の健康診断(健康診査)の受診については、「学校や福祉施設で健康診断を受けた」が43.9%と最も高く、次いで「勤務先で健康診断を受けた」が23.0%となっています。
また、「健康診断は受けていない」は17.1%となっています。



問 17 あなたは、どのくらい外出しますか。通園、通学、通勤、通所、通院、買物、日常の散歩などすべて含めてお答えください。(○は1つ)

外出の頻度については、「週に5日以上」が65.8%と最も高く、6割以上の方が回答しています。また、「ほとんど外出しない」は4.3%となっています。



[ほとんど外出しない方におききます]

問 18 外出をしない理由は何ですか。(○はいくつでも)

外出をしない理由については、「障害が重い(病状が重い)」が3件と最も多く、次いで「人との会話が困難」が2件となっています。

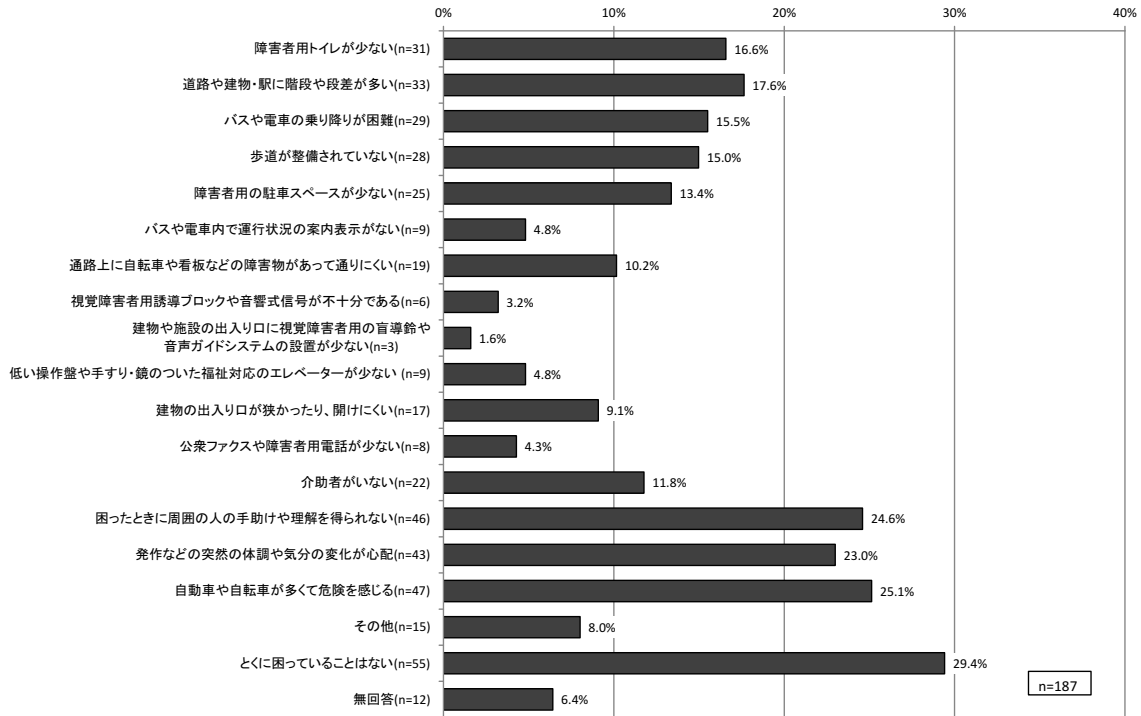


[ここからは全員におききします]

問 19 外出の際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

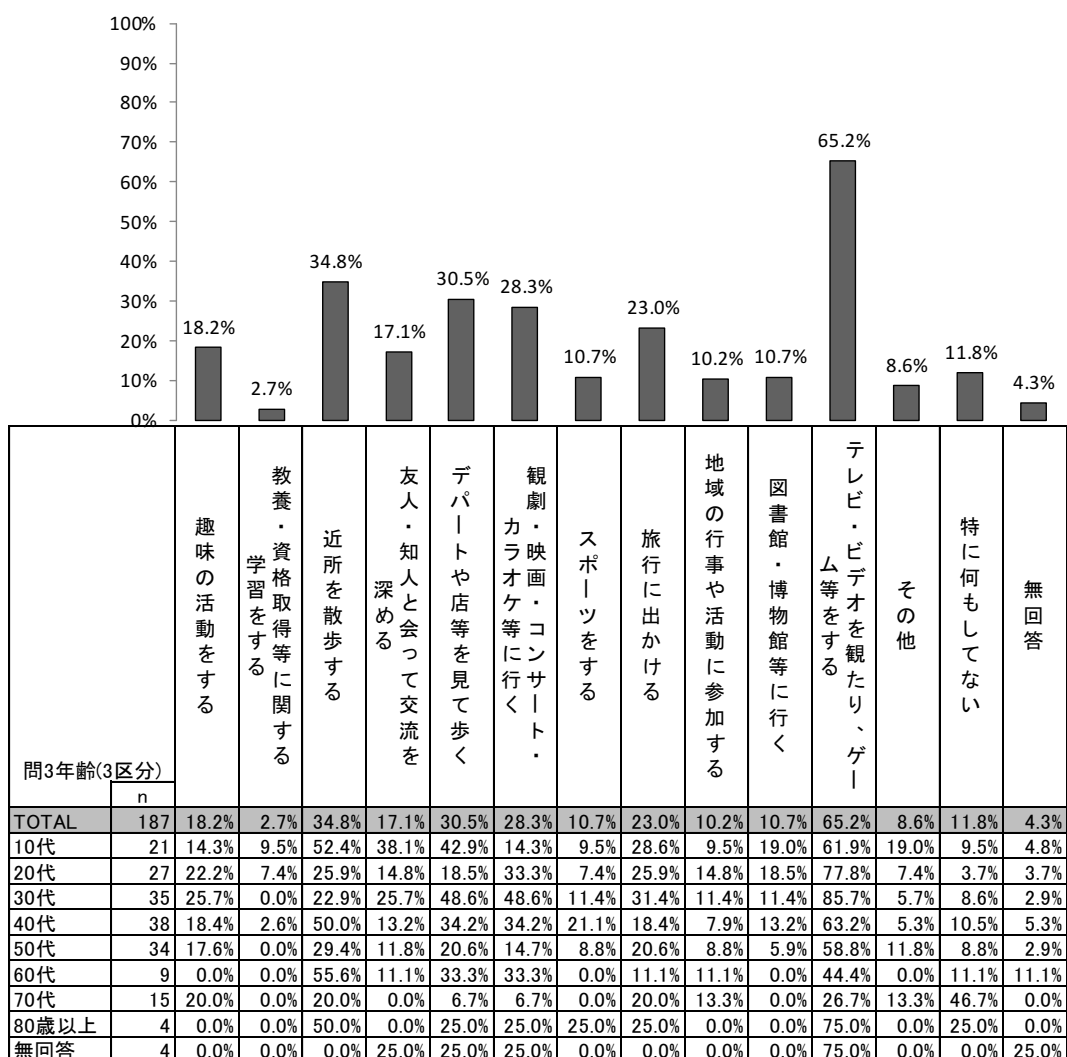
外出の際に困っていることについては、「自動車や自転車がなくて危険を感じる」が 25.1%と最も高く、次いで「困ったときに周囲の人の手助けや理解を得られない」が 24.6%、「発作などの突然の体調や気分の変化が心配」が 23.0%となっています。

また、「特に困っていることはない」は 29.4%となっています。



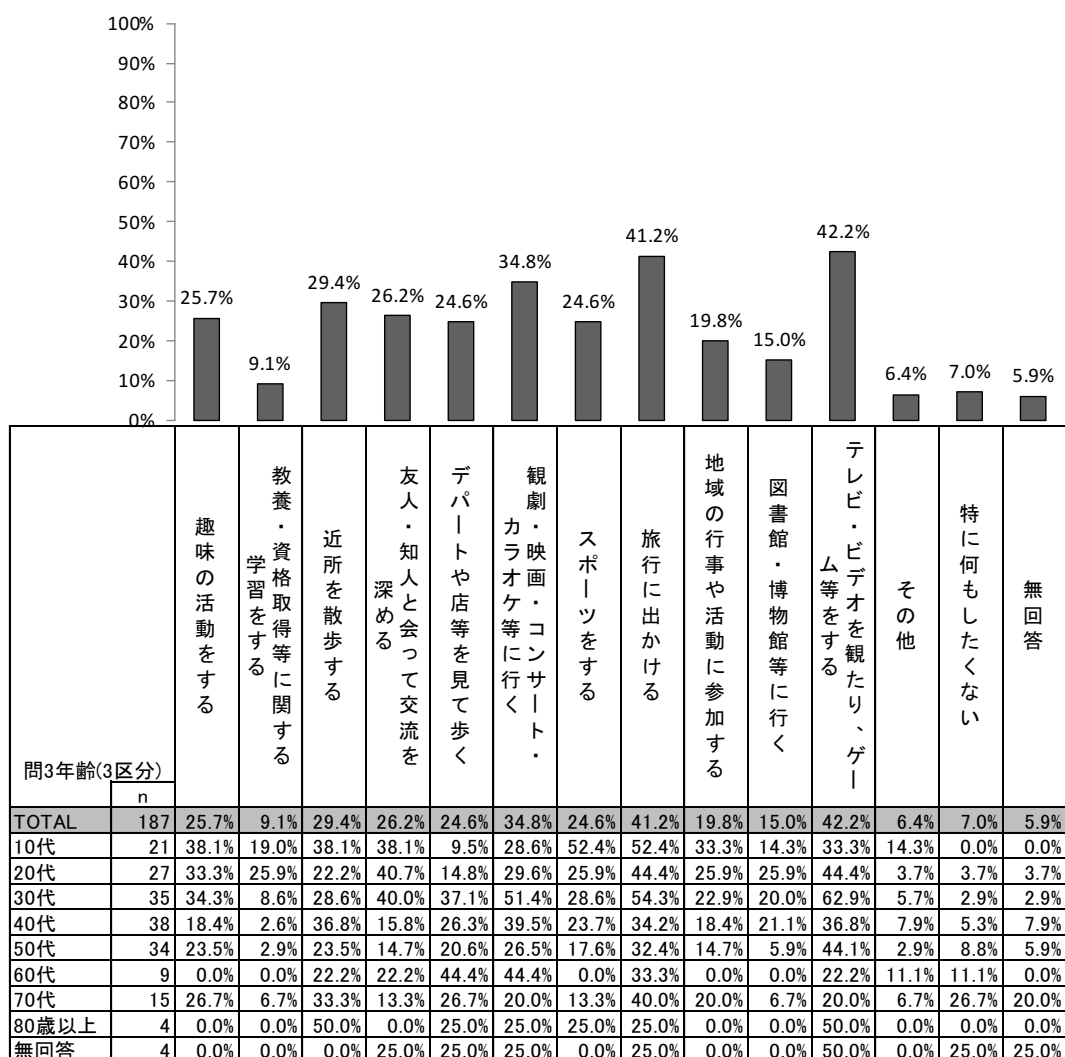
問 20 どのような生涯学習活動や余暇活動をしていますか。(○はいくつでも)

現在行っている生涯活動や余暇活動については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が 65.2%と最も高く、次いで「近所を散歩する」が 34.8%、「デパートや店等を見て歩く」が 30.5%となっています。



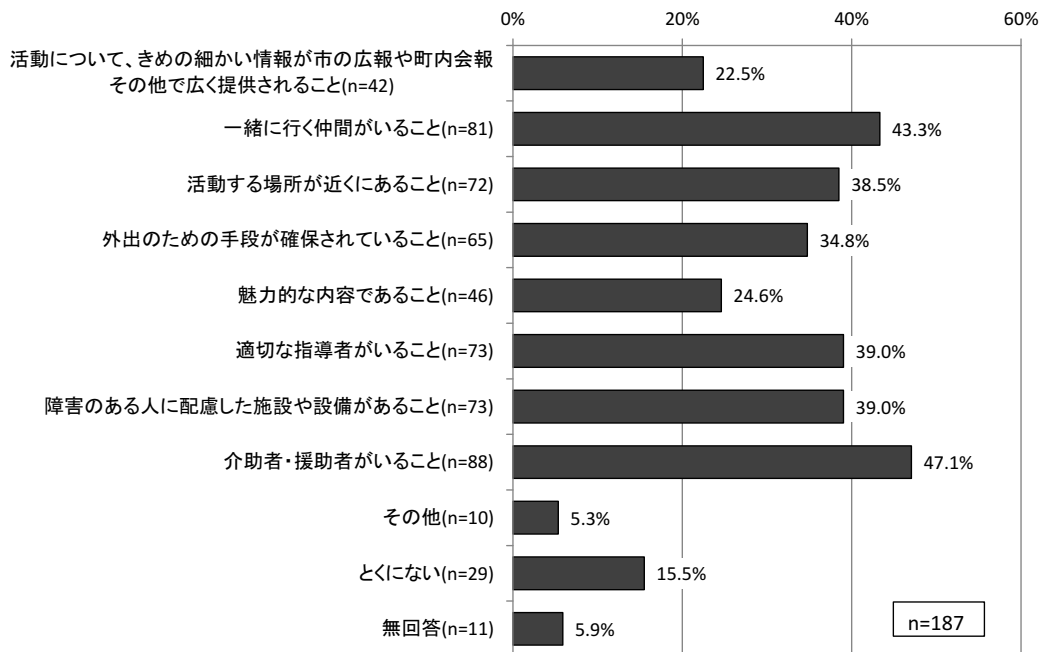
問 21 今後、どのような生涯学習活動や余暇活動をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後行いたい生涯活動や余暇活動については、「テレビ・ビデオを観たり、ゲーム等をする」が42.2%と最も高く、次いで「旅行に出かける」が41.2%、「観劇・映画・コンサート・カラオケ等に行く」が34.8%となっています。



問 22 あなたは、上記のような活動をするために、どのような条件が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

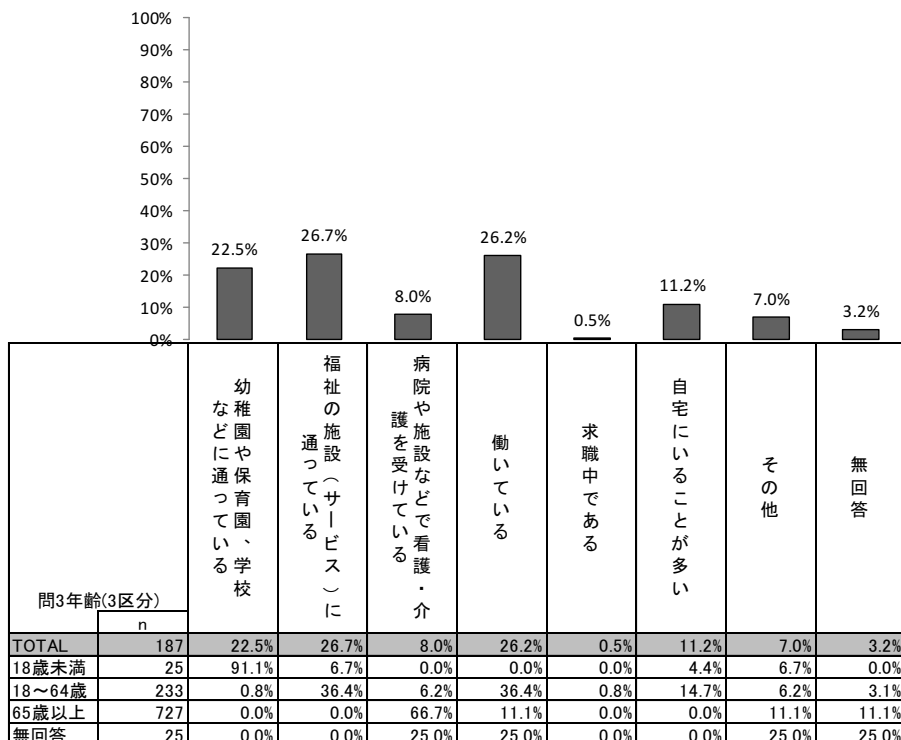
希望する活動を行うために必要な条件については、「介助者・援助者がいること」が47.1%と最も高く、次いで「一緒に行く仲間がいること」が43.3%、「適切な指導者がいること」、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」がともに39.0%となっています。



《 日 中 の 過 ぎ し 方 に つ い て 》

問 23 あなたは、日中をどのように過ごしていますか。(利用しているものに〇)

日中の過ごし方については、「福祉施設（サービス）に通っている」が26.7%と最も高く、次いで「働いている」が26.2%、「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が22.5%となっています。



《 幼稚園や保育園、学校のことなどについて 》

[幼稚園や保育園、学校などに通っている方におききます]

問 24 通っているのは次のうちどれですか。(○は1つ)

幼稚園や保育園、学校などに通っている人の通園・通学先については、「特別支援学校」が20人と最も多く、次いで「小学校、中学校、高等学校」が15人、「幼稚園・保育園」が2人となっています。

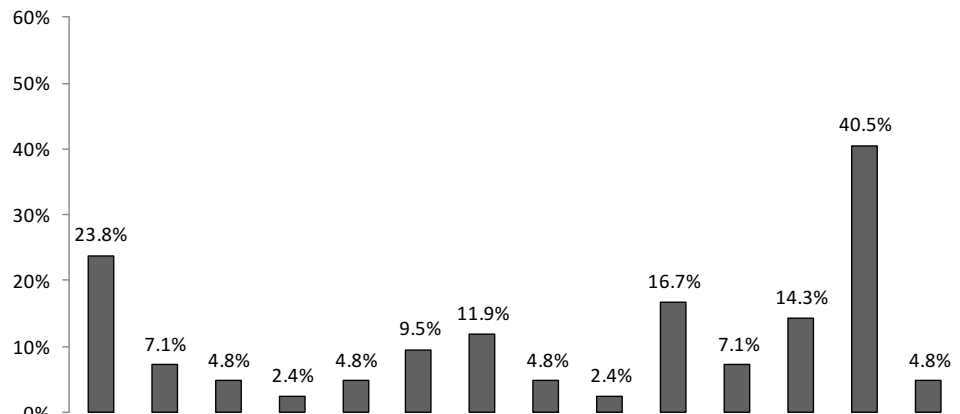
n=42	幼稚園、保育園	小学校、中学校、高等学校	特別支援学校	専門学校・高等技術専門学校	短大・大学	その他	無回答
	2	15	20	0	0	5	0

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

問 25 幼稚園・学校などに通っていて困っていることはありますか。(○はいくつでも)

幼稚園・学校などで困ることについては、「通うのがたいへん」が最も多く、次いで「普通学級に入れない」、「学校の数が少ない」となっています。

また、「とくに困っていることはない」は40.5%となっています。



問23通園・通学先	n	通うのがたいへん	授業についていけない	トイレなどの設備が不十分	校内・園内での介護が不十分	友だちができない	職員の理解が得られない	学校の数が少ない	児童・生徒の理解が得られない	受け入れてくれる学校がない	普通学級に入れない	家族の同伴を求められる	その他	とくに困っていることはない	無回答
		TOTAL	42	23.8%	7.1%	4.8%	2.4%	4.8%	9.5%	11.9%	4.8%	2.4%	16.7%	7.1%	14.3%
幼稚園、保育園	2	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
小学校、中学校、高等学校	15	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	20.0%	6.7%	6.7%	53.3%	6.7%
特別支援学校	20	30.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	15.0%	5.0%	0.0%	15.0%	5.0%	20.0%	35.0%	0.0%
その他	5	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 26 将来、学校教育を修了後の希望を教えてください。(ご本人がまだわからない場合は保護者の方がお答えください。)(○は1つ)

学校教育終了後の希望については、「就職したい」が16人と最も多く、次いで「障害者施設に通所したい」が13人となっています。

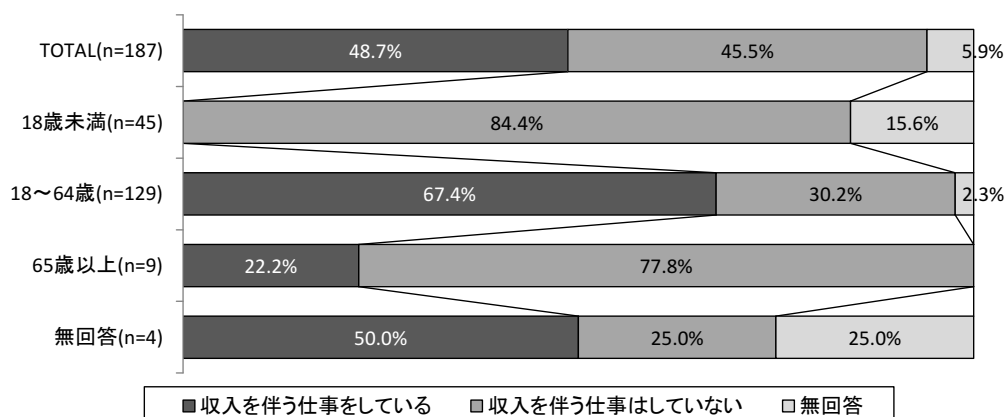
n=42	短大・大学・大学院に進学したい	専門学校・専修学校に進学したい	高等技術専門学校に進学したい	障害者施設に入所したい	障害者施設に通所したい	就職したい	その他	特に考えていない	無回答
	2	2	2	0	13	16	2	2	3

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

《 雇 用 ・ 就 労 に つ い て 》

問 27 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

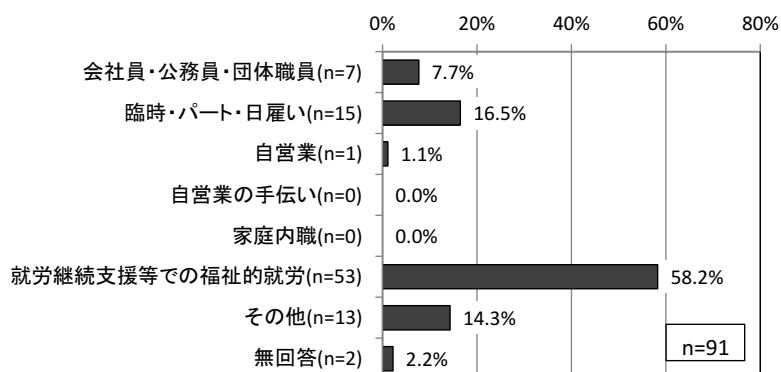
現在「収入を伴う仕事をしている」方は48.7%となっています。



[次の問 28、問 29 は、収入を伴う仕事をしている方におききします]

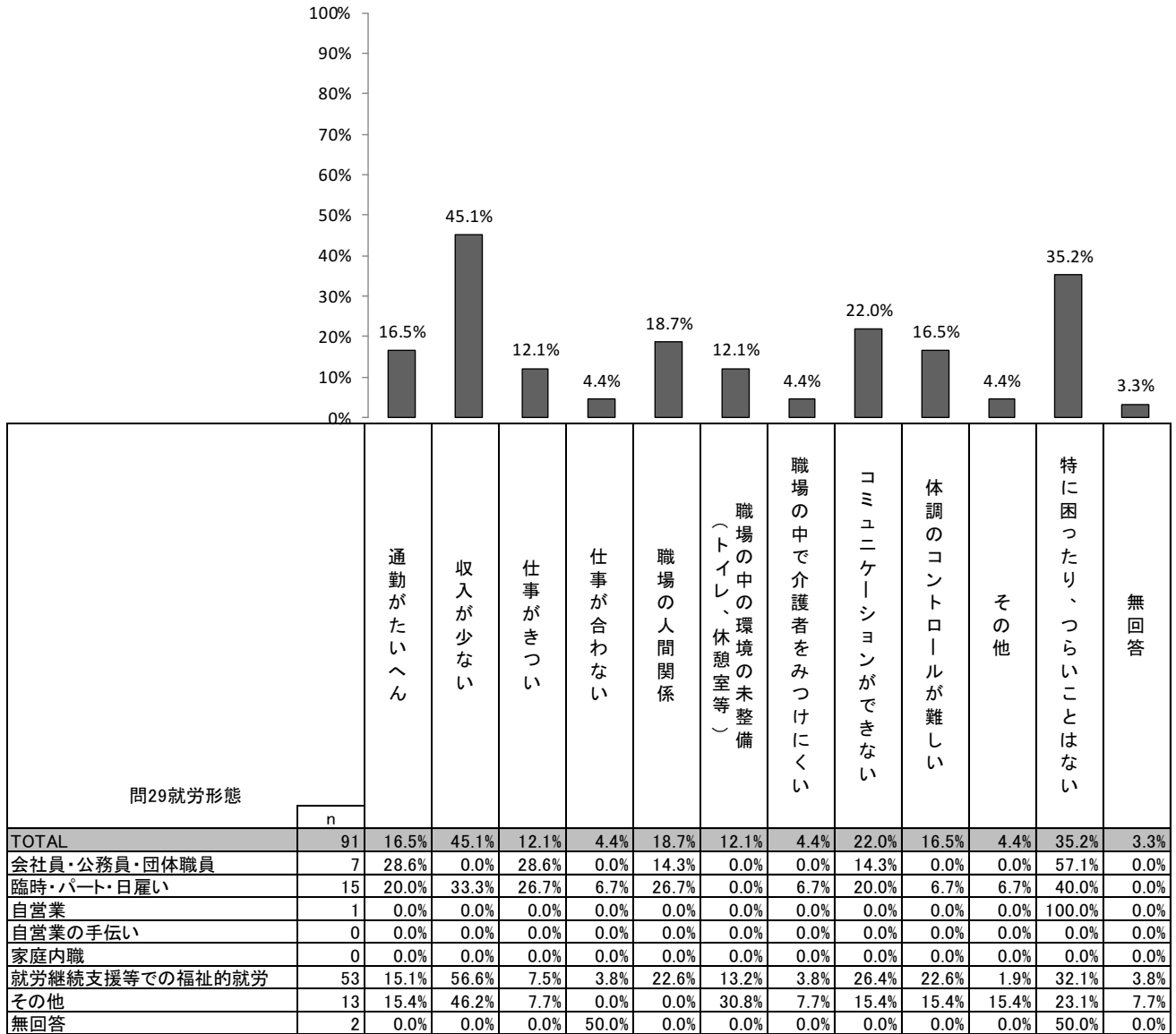
問 28 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

仕事の形態については、「就労継続支援等での福祉的就労」が58.2%と最も高く、半数以上の方が回答しています。



問 29 仕事をする上で困ったり、つらいことは主にどのようなことですか。(〇はいくつでも)

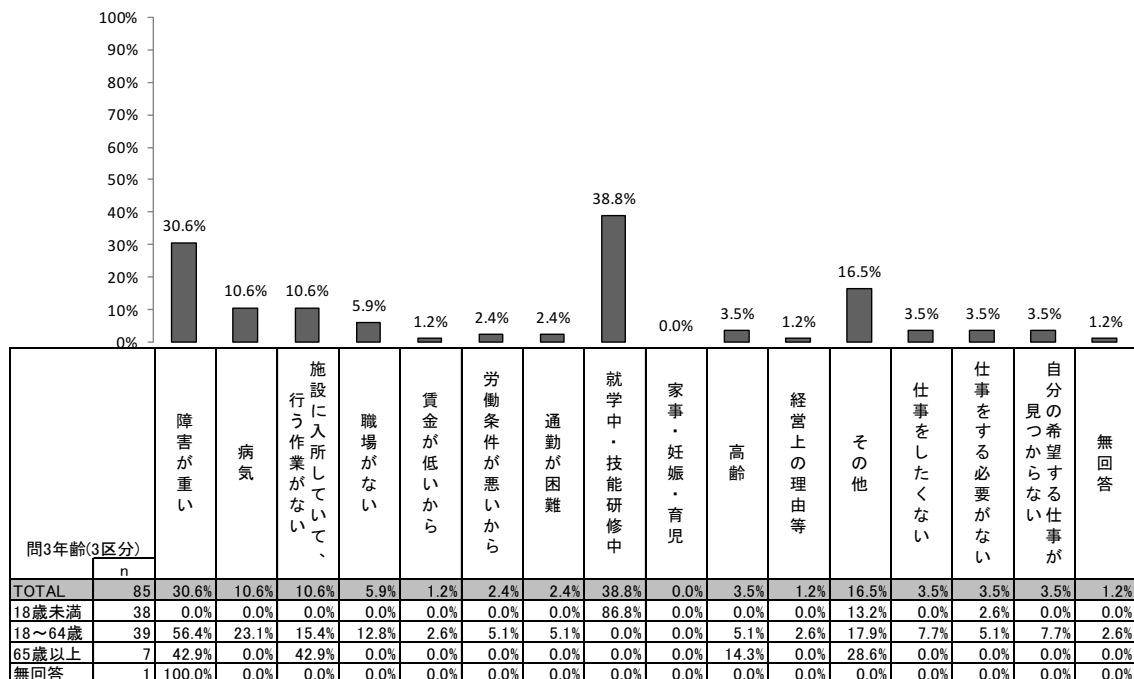
仕事をする上で困ったり、つらいことについては、「収入が少ない」が45.1%と最も高く、次いで「コミュニケーションができない」が22.0%、「職場の人間関係」が18.7%となっています。また、「とくに困ったり、つらいことはない」は35.2%となっています。



[次の問 30、問 31 は、収入を伴う仕事をしていない方におききます]

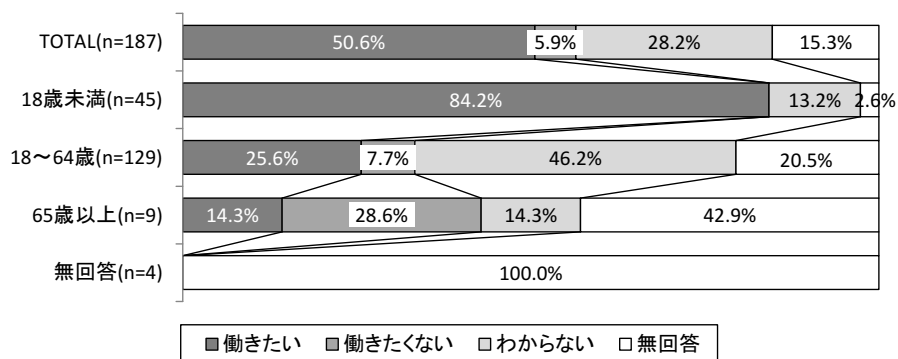
問 30 仕事をしていない主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をしていない理由については、「就学中・技能研修中」が 38.8%と最も高く、次いで「障害が重い」が 30.6%、「病気」、「施設に入所して、行う作業がない」がともに 10.6%となっています。



問 31 今後、自分の健康や通勤の可能性等、条件が整っていれば働きたいと思いませんか。(〇は1つ)

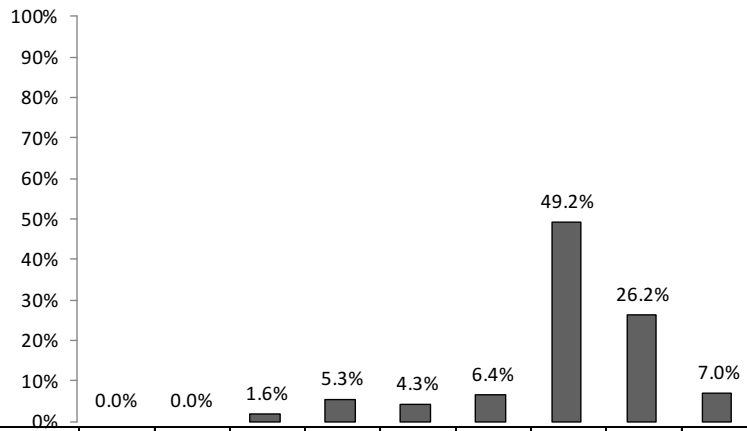
現在、収入を伴う仕事をしていない方のうち約半数の方は「働きたい」と回答しています。



[ここからは、全員におききします]

問 32 あなたの昨年一年間の収入の額は、次のうちどれですか。(○は1つ)

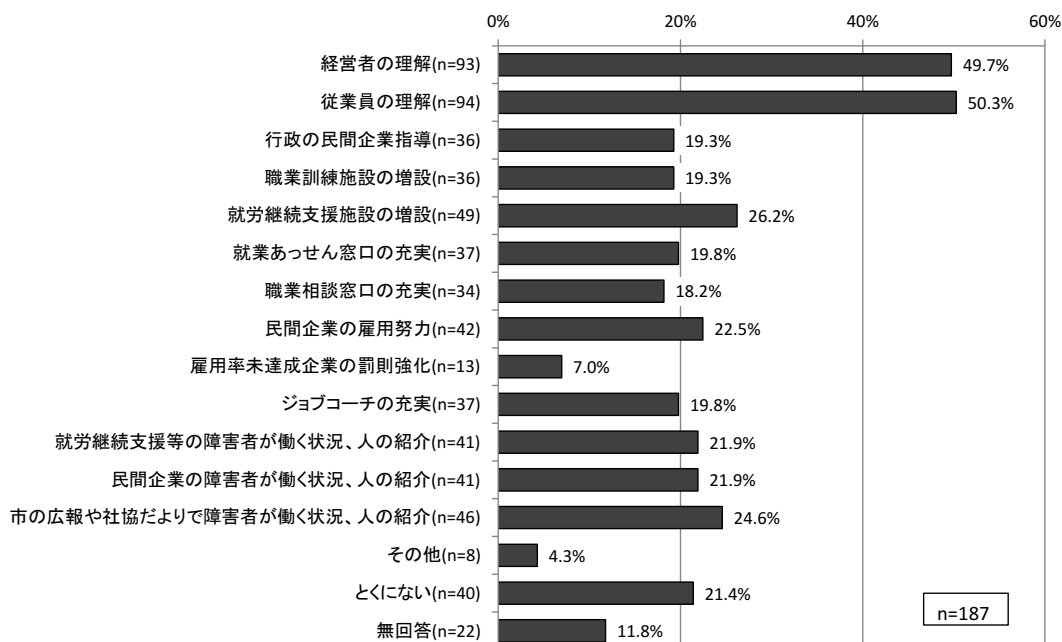
昨年一年間の年収については、「年収 100 万円未満」が 49.2%と最も高く、約半数の方が回答しています。



問28仕事の形態	n	年収 500 万円以上	年収 300 万円以上	年収 200 万円以上	年収 150 万円以上	年収 100 万円以上	年収 50 万円以上	年収 10 万円未満	わからない・その他	無回答
TOTAL	91	0.0%	0.0%	1.6%	5.3%	4.3%	6.4%	49.2%	26.2%	7.0%
会社員・公務員・団体職員	7	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
臨時・パート・日雇い	15	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	33.3%	13.3%	13.3%	0.0%
自営業	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業の手伝い	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家庭内職	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
就労継続支援等での福祉的就労	53	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	3.8%	77.4%	13.2%	1.9%
その他	13	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	61.5%	7.7%	0.0%
無回答	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
問34主な収入										
給与・賃金	44	0.0%	0.0%	6.8%	18.2%	13.6%	15.9%	34.1%	9.1%	2.3%
事業収入	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授産所や作業所の工賃	26	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
家族からの仕送り・援助	65	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	3.1%	7.7%	58.5%	29.2%	0.0%
年金、障害者年金	105	0.0%	0.0%	1.9%	4.8%	3.8%	5.7%	65.7%	16.2%	1.9%
生活保護	9	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%
その他	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	23.5%	64.7%	0.0%
無回答	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

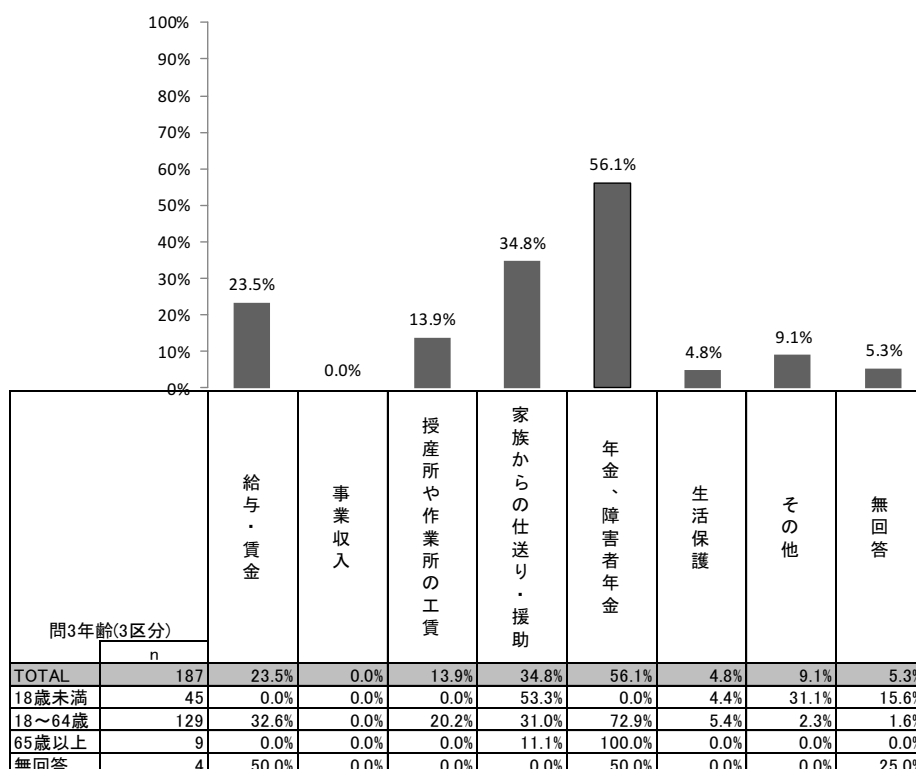
問 33 障害のある人の就業を促進するために、あなたはどのようなことを希望されますか。
(○はいくつでも)

障がいのある人の就業促進のために希望することについては、「従業員の理解 (50.3%)」、「経営者の理解 (49.7%)」がともに約5割と高くなっています。



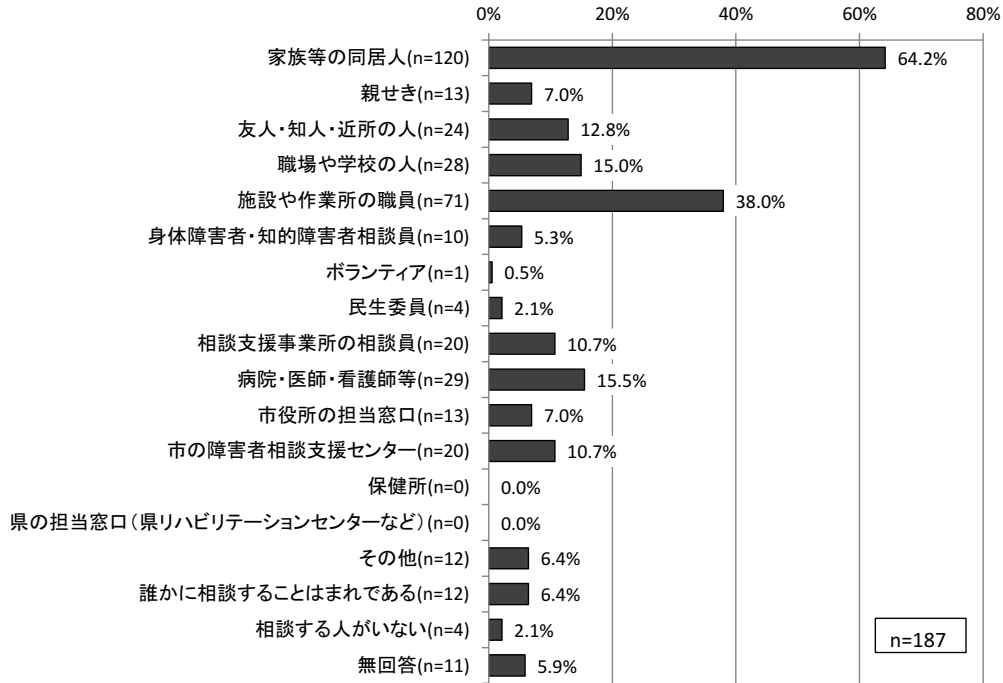
問 34 現在、あなたの生活を支えている収入は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在、生活を支えている収入については、「年金、障害者年金」が56.1%と最も高く、次いで「家族からの仕送り・援助」が34.8%、「給与・賃金」が23.5%となっています。



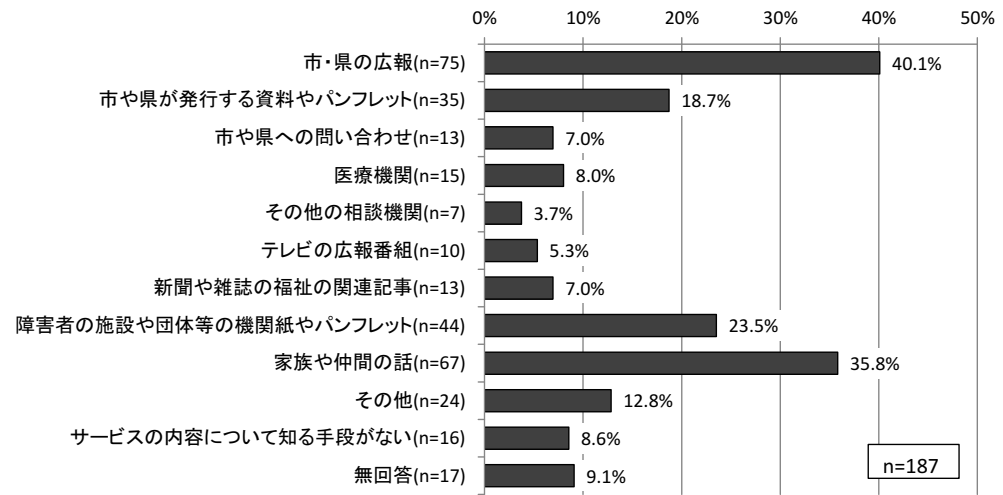
問 35 普段、悩みや困ったことなどをどなたに相談しますか。(〇はいくつでも)

悩みや困ったことなどの相談先については、「家族等の同居人」が64.2%と最も高く、次いで「施設や作業所の職員」が38.0%となっています。



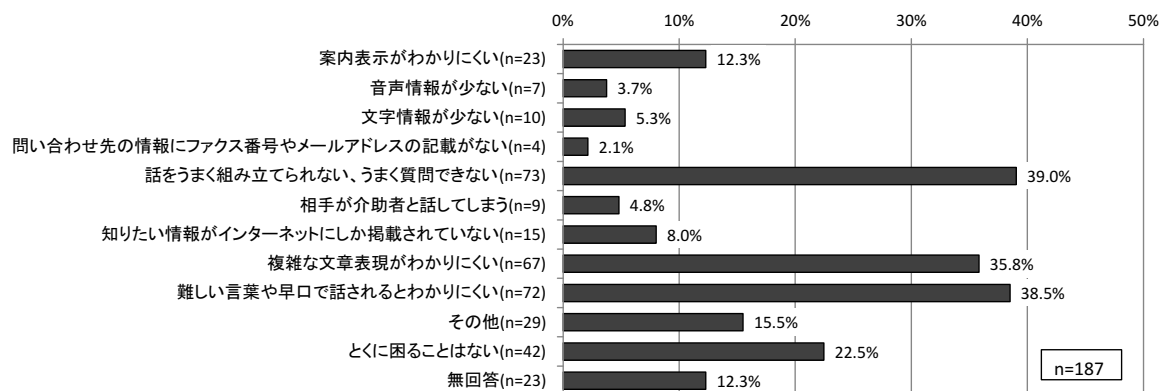
問 36 障害のある人のための福祉サービス内容について、どのようなもので知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

福祉サービスの内容については、「市・県の広報」が40.1%と最も高く、次いで「家族や仲間の話」が35.8%、「障害者の施設や団体等の機関紙やパンフレット」が23.5%となっています。



問 37 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ることはありますか。
(〇はいくつでも)

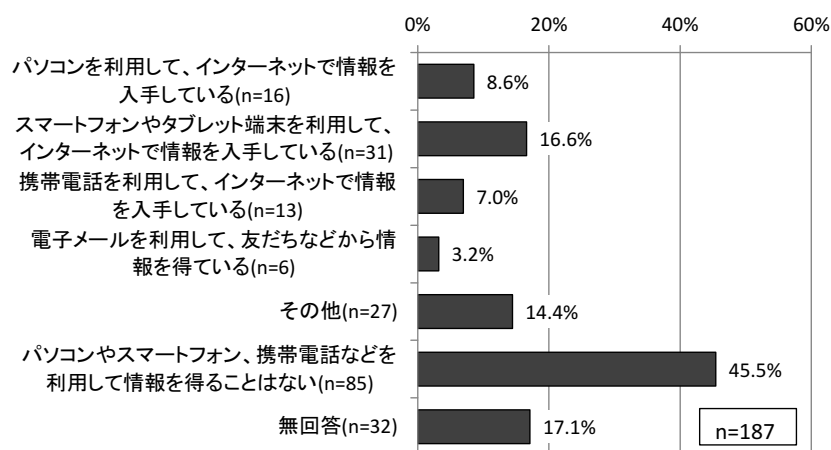
情報の入手やコミュニケーションで困ることについては、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が39.0%と最も高く、次いで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」が38.5%、「複雑な文章表現がわかりにくい」が35.8%となっています。



問 38 あなたは、情報を入手するために、パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用していますか。

情報の入手については、「スマートフォンやタブレット端末を利用して、インターネットで情報を入手している」が16.6%と最も高く、次いで「パソコンを利用して、インターネットで情報を入手している」が8.6%となっています。

また、「パソコンやスマートフォン、携帯電話などを利用して情報を得ることはない」は45.5%となっています。

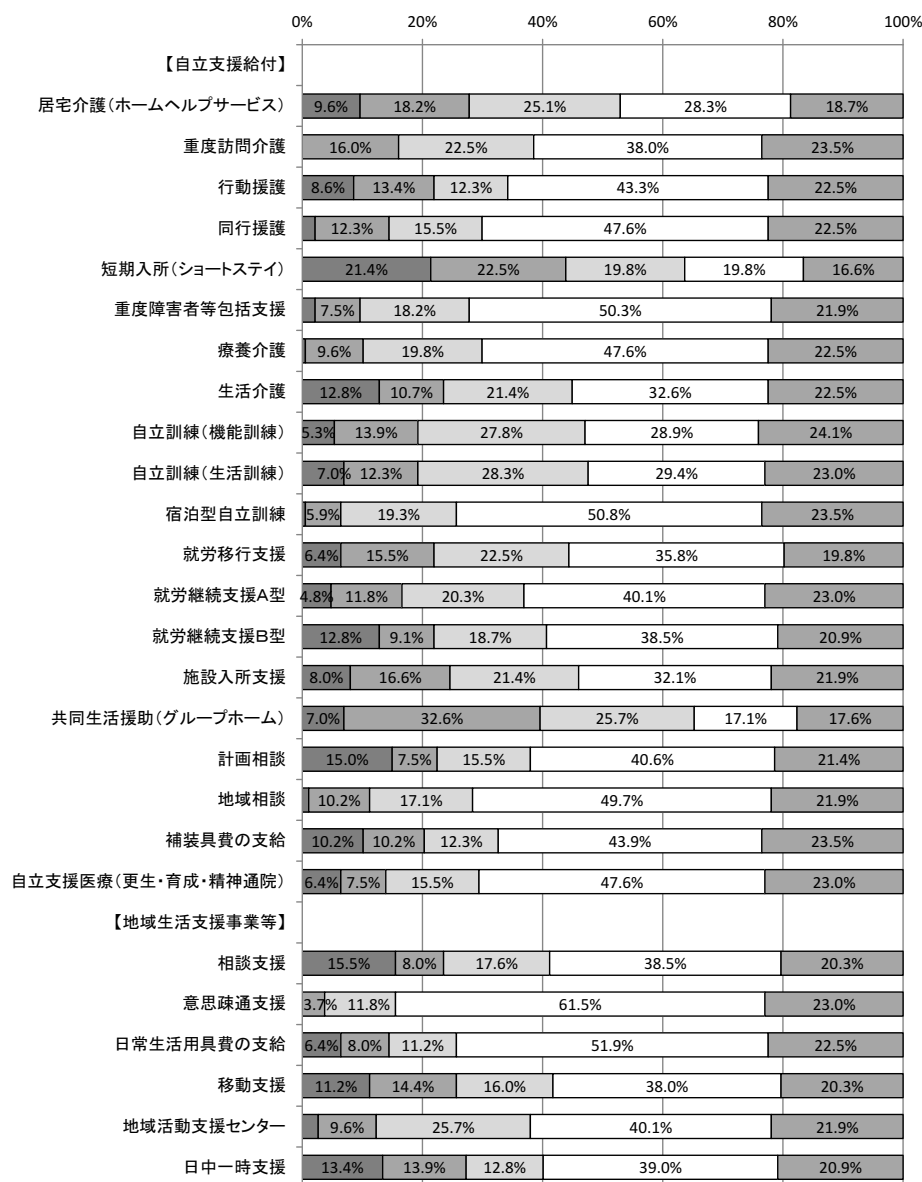


《 福 祉 サ ー ビ ス に つ い て 》

問 39 あなたは、次のような福祉サービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。

内容をわかっている、利用したことがある（利用していたことがある）人の割合が高いサービスは、「短期入所（ショートステイ）（21.4%）」、「相談支援（15.5%）」、「計画相談（15.0%）」となっています。

制度の名前を初めて聞いた人の割合が高いサービスは「意思疎通支援（61.5%）」、「日常生活用具費の支給（51.9%）」、「宿泊型自立支援（50.8%）」、となっています。



内容をわかっている、利用している(利用していたことがある)
 内容はわかっているが、利用したことはない
 制度の名前は聞いたことはあるが、内容はわからない
 制度の名前を初めて聞いた
 無回答

※横積み上げグラフの各項目の%は3%以上のもののみ表記しており、3%未満の回答については、添付の表を参照ください。

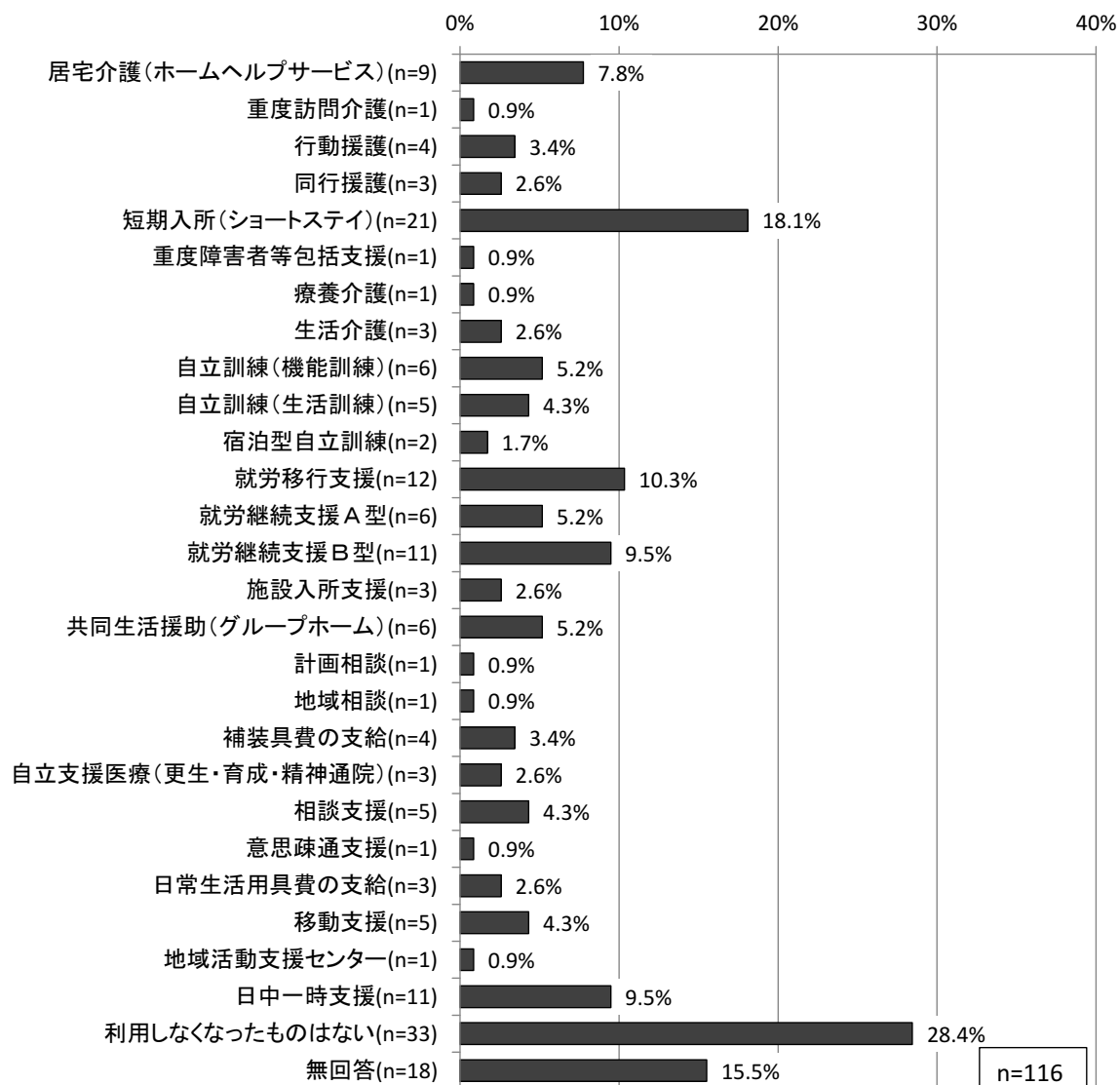
	n	内容をわかって いる、利用して いる(利用して いたことがある)	内容はわかっ ているが、利用 したことはない	制度の名前は 聞いたことはあ るが、内容はわ からない	制度の名 前を初め て聞いた	無回答	合計
【自立支援給付】							
居宅介護(ホームヘルプサービス)	187	9.6%	18.2%	25.1%	28.3%	18.7%	100.0%
重度訪問介護	187	0.0%	16.0%	22.5%	38.0%	23.5%	100.0%
行動援護	187	8.6%	13.4%	12.3%	43.3%	22.5%	100.0%
同行援護	187	2.1%	12.3%	15.5%	47.6%	22.5%	100.0%
短期入所(ショートステイ)	187	21.4%	22.5%	19.8%	19.8%	16.6%	100.0%
重度障害者等包括支援	187	2.1%	7.5%	18.2%	50.3%	21.9%	100.0%
療養介護	187	0.5%	9.6%	19.8%	47.6%	22.5%	100.0%
生活介護	187	12.8%	10.7%	21.4%	32.6%	22.5%	100.0%
自立訓練(機能訓練)	187	5.3%	13.9%	27.8%	28.9%	24.1%	100.0%
自立訓練(生活訓練)	187	7.0%	12.3%	28.3%	29.4%	23.0%	100.0%
宿泊型自立訓練	187	0.5%	5.9%	19.3%	50.8%	23.5%	100.0%
就労移行支援	187	6.4%	15.5%	22.5%	35.8%	19.8%	100.0%
就労継続支援A型	187	4.8%	11.8%	20.3%	40.1%	23.0%	100.0%
就労継続支援B型	187	12.8%	9.1%	18.7%	38.5%	20.9%	100.0%
施設入所支援	187	8.0%	16.6%	21.4%	32.1%	21.9%	100.0%
共同生活援助(グループホーム)	187	7.0%	32.6%	25.7%	17.1%	17.6%	100.0%
計画相談	187	15.0%	7.5%	15.5%	40.6%	21.4%	100.0%
地域相談	187	1.1%	10.2%	17.1%	49.7%	21.9%	100.0%
補装具費の支給	187	10.2%	10.2%	12.3%	43.9%	23.5%	100.0%
自立支援医療(更生・育成・精神通院)	187	6.4%	7.5%	15.5%	47.6%	23.0%	100.0%
【地域生活支援事業等】							
相談支援	187	15.5%	8.0%	17.6%	38.5%	20.3%	100.0%
意思疎通支援	187	0.0%	3.7%	11.8%	61.5%	23.0%	100.0%
日常生活用具費の支給	187	6.4%	8.0%	11.2%	51.9%	22.5%	100.0%
移動支援	187	11.2%	14.4%	16.0%	38.0%	20.3%	100.0%
地域活動支援センター	187	2.7%	9.6%	25.7%	40.1%	21.9%	100.0%
日中一時支援	187	13.4%	13.9%	12.8%	39.0%	20.9%	100.0%

[問39で「内容をわかっている、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問40 次のサービスの中で、以前に利用していたが、今は利用していないサービスはありますか。
(〇はいくつでも)

以前は利用していたが、今は利用していないサービスについては、「短期入所(ショートステイ)」が18.1%と最も高く、次いで「就労移行支援」が10.3%、「就労継続支援B型」が9.5%となっています。

また、「利用しなくなったものはない」は28.4%となっています。

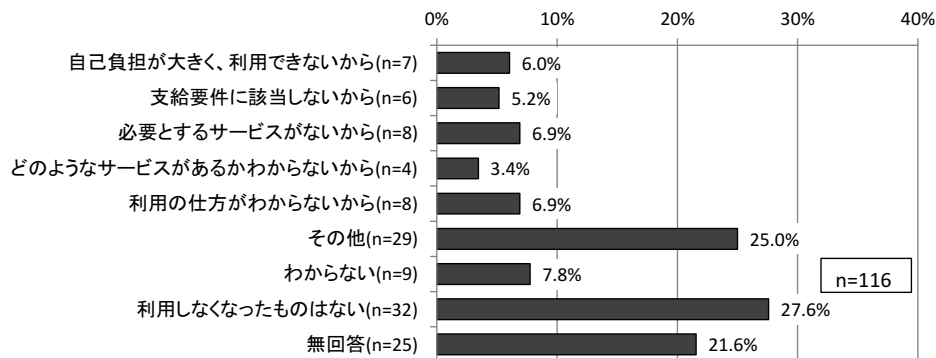


[問39で「内容をわかっていて、利用している(利用していたことがある)」を1つ以上回答した方におききます]

問41 サービスを利用しなくなった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

サービスを利用しなくなった理由については、「必要とするサービスがないから」、「利用の仕方がわからないから」がともに 6.9%と最も高く、次いで「自己負担が大きく、利用できないから」が 6.0%となっています。

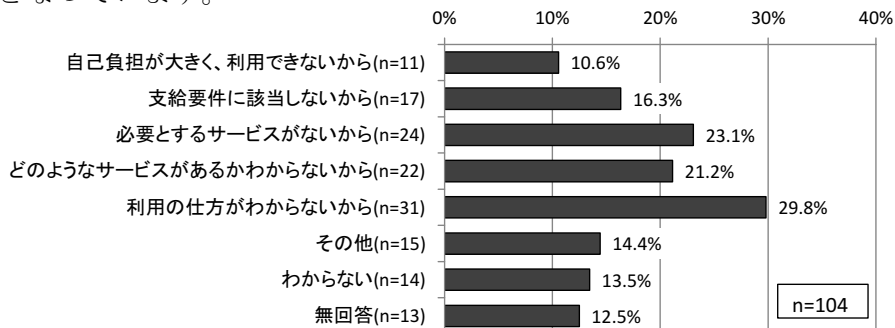
また、「利用しなくなったものはない」は 27.6%となっています。



[問39で「内容はわかっているが、利用したことはない」を1つ以上回答した方におききます]

問42 サービスを利用していない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

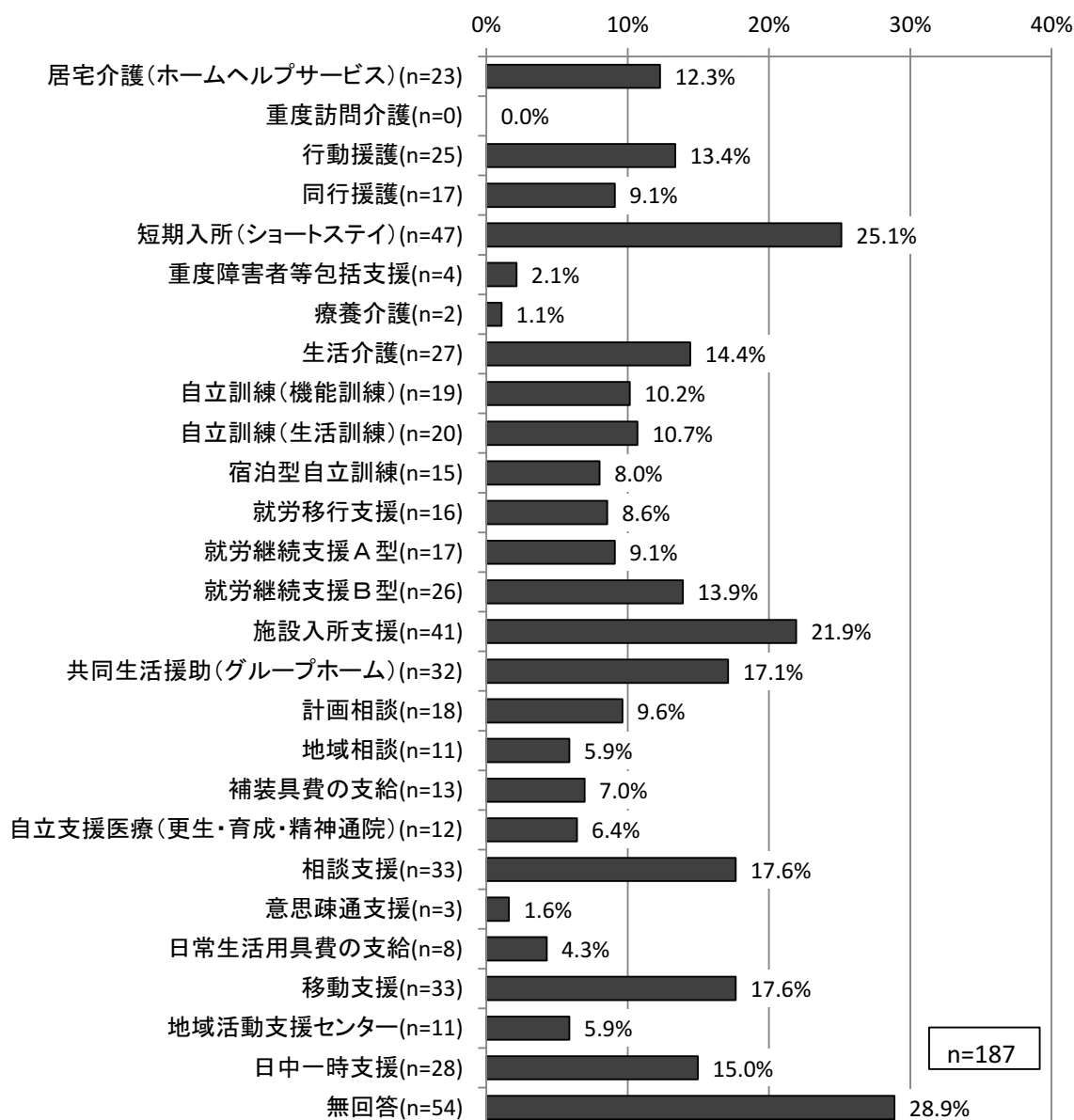
サービスを利用していない理由については、「利用の仕方がわからない」が 29.8%と最も高く、次いで「必要とするサービスがないから」が 23.1%、「どのようなサービスがあるかわからないから」が 21.2%となっています。



[ここからは、全員におききします]

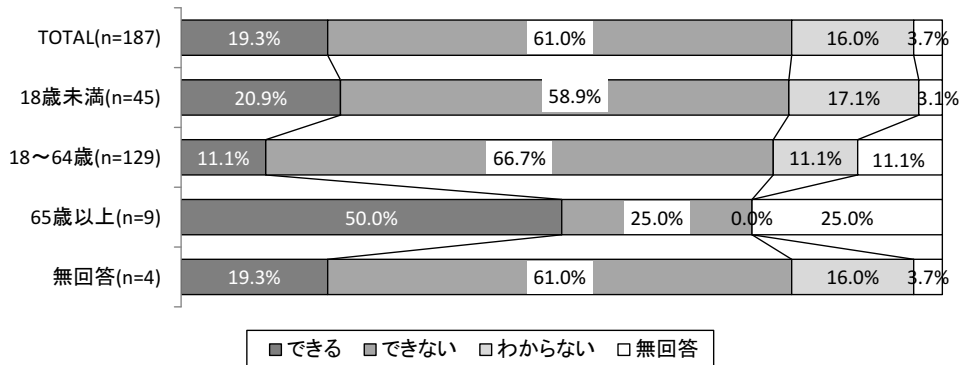
問 43 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは、新たに利用したいと思うサービスはありますか。利用したいものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

今後も利用したいと考えている人の割合が高いサービスは、「短期入所（ショートステイ）（25.1%）」、「施設入所支援（21.9%）」、「相談支援（17.6%）」、「移動支援（17.6%）」となっています。



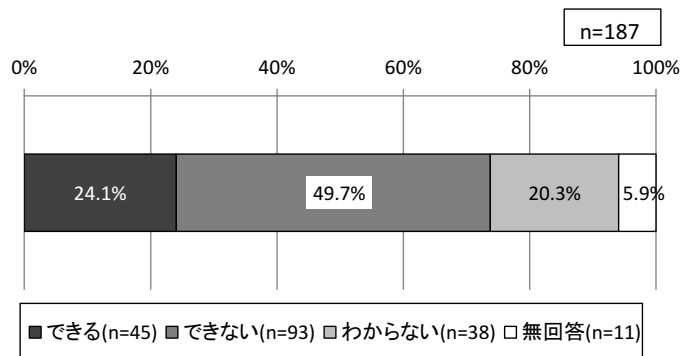
問 44 火事や地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。(○は1つ)

災害時の避難については、一人で避難が「できない」が61.0%、「できる」が19.3%となっています。



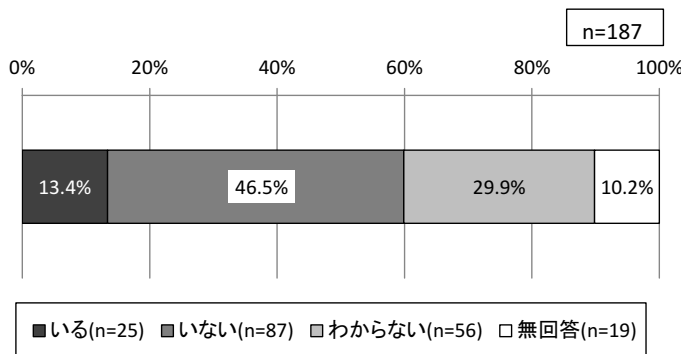
問 45 火事などの非常時に、あなたは周囲の人に知らせることができますか。(○は1つ)

非常時に周囲に知らせることが「できない」が49.7%、「できる」24.1%となっています。



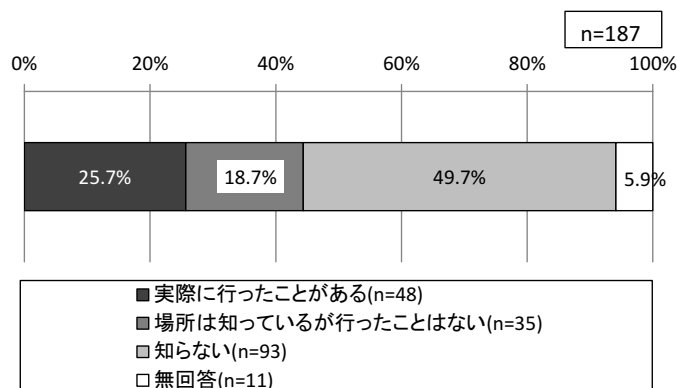
問 46 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいますか。(○は1つ)

近所に助けてくれる人が「いない」が46.5%、「いる」が13.4%となっています。



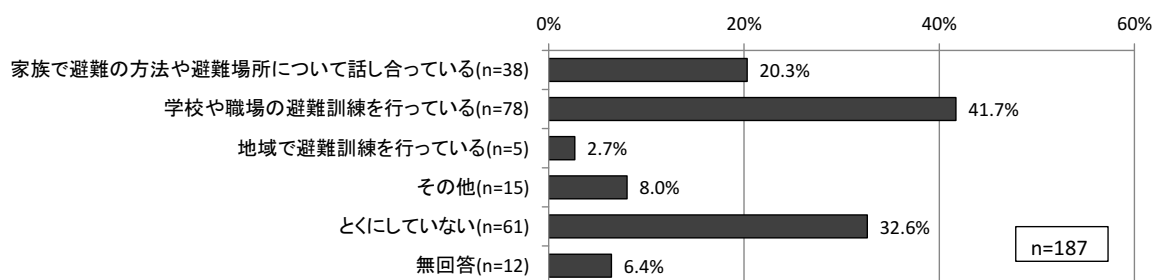
問 47 お住まいの周辺の災害時の避難場所を知っていますか。(○は1つ)

災害時の避難場所については、「知らない」が49.7%、「実際に行ったことがある」が25.7%、「場所は知っているが行ったことはない」が18.7%となっています。



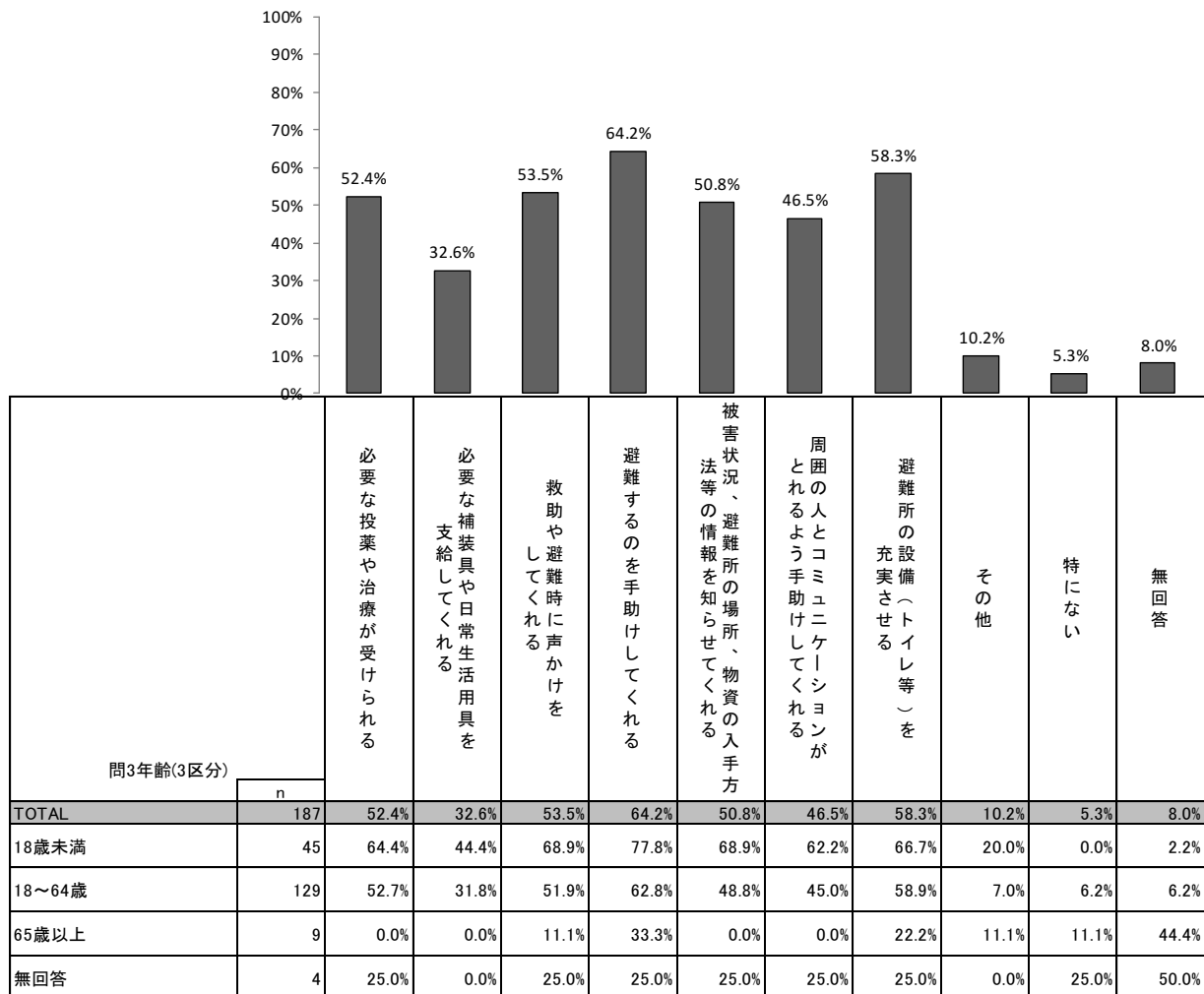
問 48 災害時の避難について、以下のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

災害時の避難場所については、「学校や職場の避難訓練を行っている」が41.7%と最も高く、次いで「家族で避難の方法や避難場所について話し合っている」が20.3%となっています。また、「とくにしていない」は32.6%となっています。



問 49 災害時にどのような支援・援助があるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

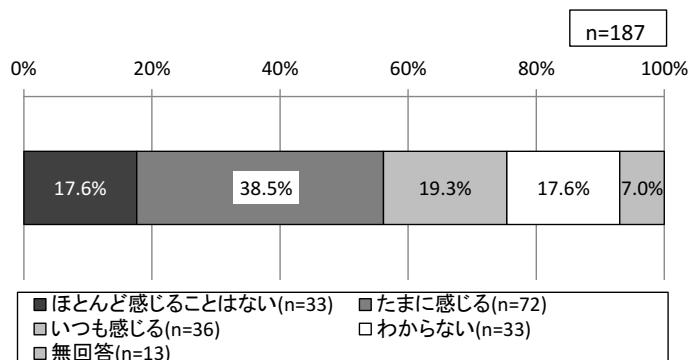
災害時にあると良いと思う支援・援助については、「避難するのを手助けしてくれる」が64.2%と最も高く、次いで「避難所の設備(トイレ等)を充実させる」が58.3%、「救助や避難時に声をかけてくれる」が53.5%となっています。



《 差 別 や 疎 外 感 に つ い て 》

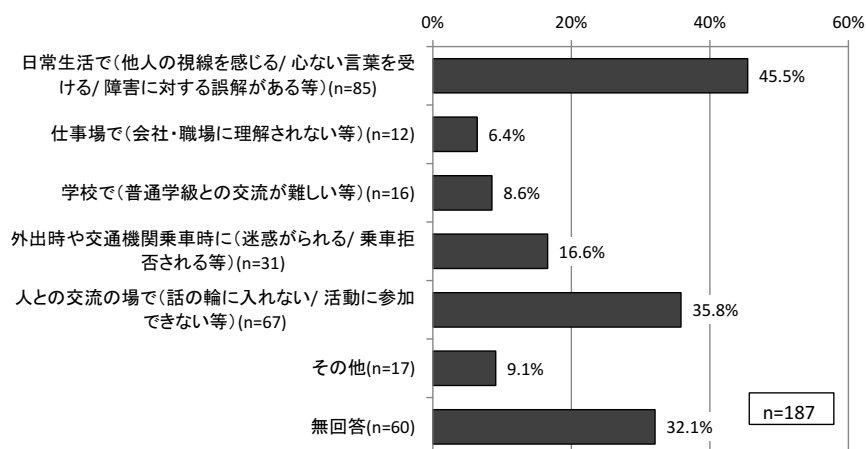
問 50 障害があることで、差別や疎外感を感じるがありますか。(〇は1つ)

障害があることでの差別や疎外感については、「たまに感じる」が38.5%と最も高く、次いで「いつも感じる」が19.3%、「ほとんど感じることはない」が17.6%となっています。



問 51 具体的には、どのようなときに、差別や疎外感を感じますか。(〇はいくつでも)

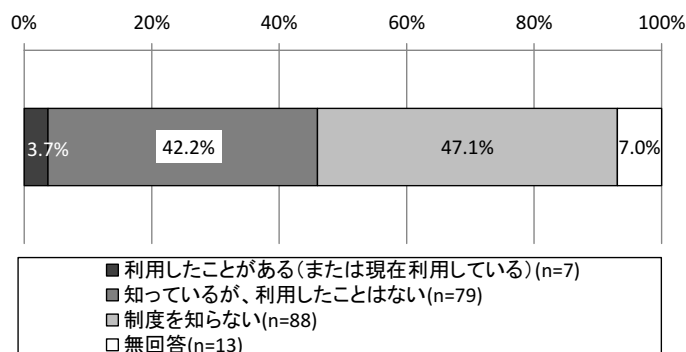
どのような時に差別や疎外感を感じるかについては、「日常生活で(他人の視線を感じる/心ない言葉を受ける/障害に対する誤解がある等)」が45.5%と最も高く、次いで「人との交流の場で(話の輪に入れない/活動に参加できない等)」が35.8%となっています。



《 成年後見制度について 》

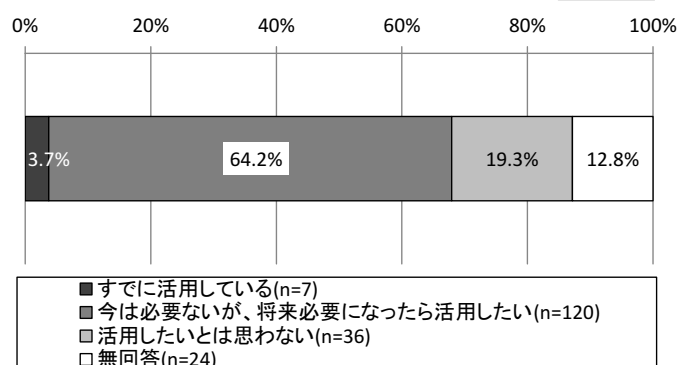
問 52 「成年後見制度」とは、知的障害や精神障害などの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度については、「制度を知らない」が47.1%と最も高くなっており、「知っているが、利用したことはない」は42.2%、「利用したことがある(または現在利用している)」は3.7%となっています。



問 53 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(〇は1つ)

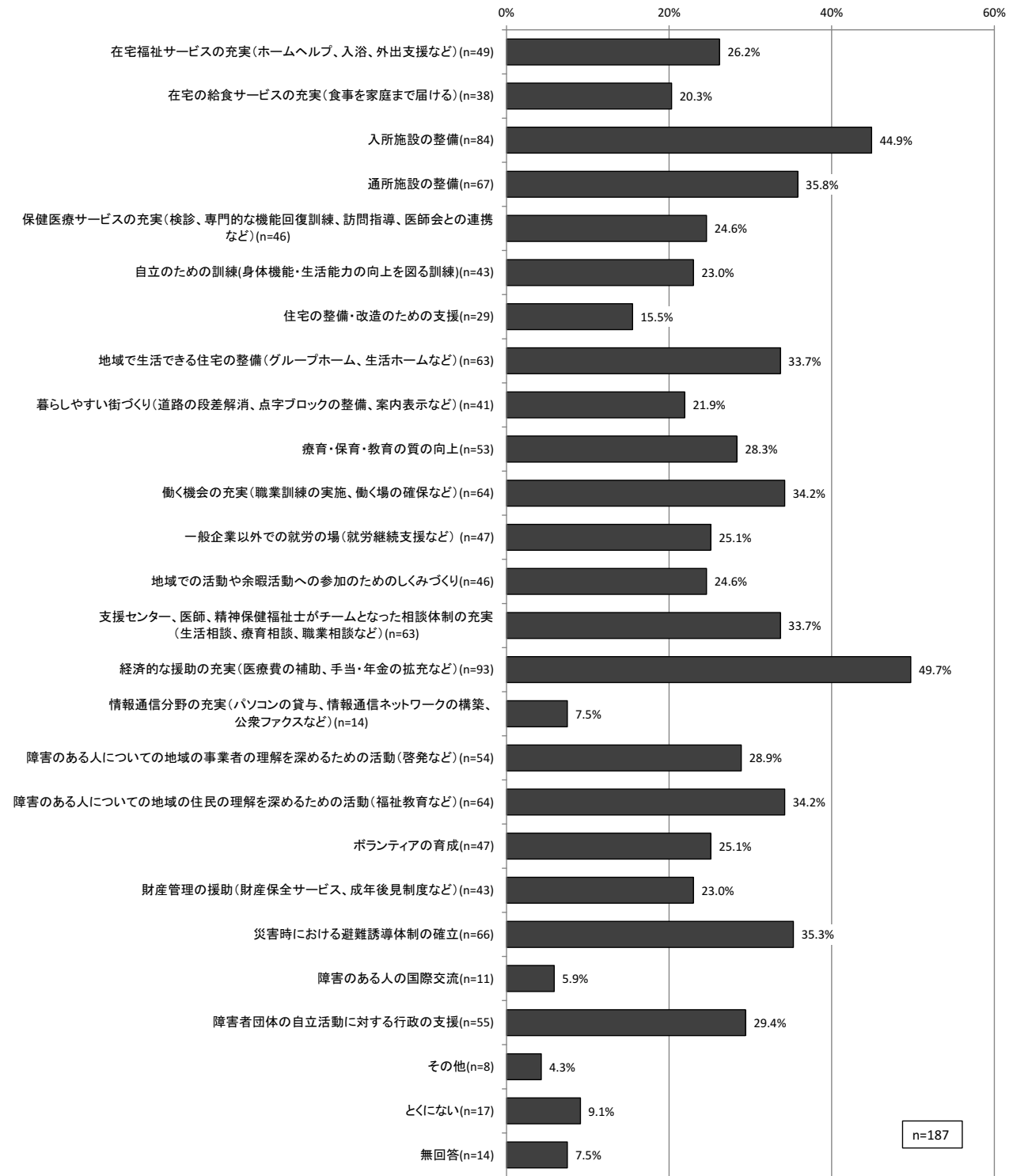
成年後見制度を活用したいかについては、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」が64.2%と最も高くなっており、「活用したいとは思わない」が19.3%、「すでに活用している」が3.7%となっています。



《 市 の 取 り 組 み 等 に つ い て 》

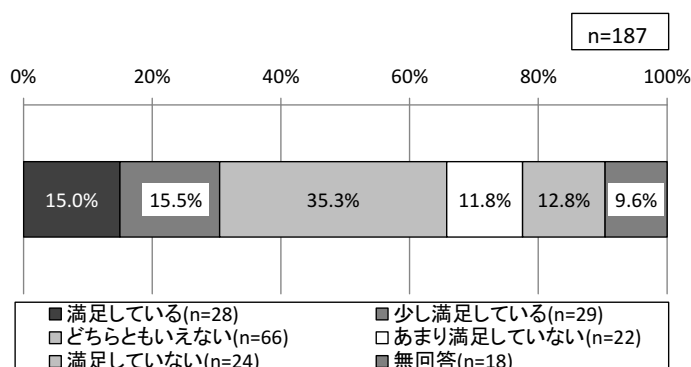
問 54 今後、障害者施策を進めていくにあたって、市は特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)

市が充実させていくべきことについては、「経済的な援助の充実（医療費の補助、手当・年金の拡充など）」が 49.7%と最も高く、次いで「入所施設の整備」が 44.9%、「通所施設の整備」が 35.8%、「災害時における避難誘導體制の確立」が 35.3%となっています。



問 55 川越市の福祉サービス全般について、満足していますか。(○は1つ)

川越市の福祉サービス全般については、「満足している（満足している＋少し満足している）」が30.5%、「満足していない（あまり満足していない＋満足していない）」が24.6%となっています。



最後に、この調査を通じて、選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- どちらに相談したら良いのか分かりません。状況が酷くなった時に子どもに被害が及びそうで不安な毎日です。(10代)

【保健・医療サービスについて】

- 40才すぎの健診が一人で出来るか心配。障害を理解して診療してくれる病院はどこなのか悩んでしまう。年になるにつれ時々具合が悪い所がでることがあるが、専門病院でもどこにつれていこうか悩む。市の方でそういう病院の表示をしてくれると安心です。(40代)
- 特定健康診断みたいに成人している発達障害者にも有るといいです。会社での健康診断がないためなかなか病院に行く事が、病気の時は行くけど、それ以外は行きたがらないため、定期診断する事がなかなか、本人が行けるようになったらいいです。(20代)
- 障害者の専門の大学病院が川越にあると助かります。現在は遠くで困って、相談してもみってくれる医師がいないです。(40代)

【教育について】

- 障害者と一言と言っても、意思疎通が全くとれない人から、一見障害者として見えない軽い人もいる。レベルに合わせた対策が必要かと思う。
- 社協だよりで、総合福祉センターでの高齢者と障害者向けの講座が紹介されているが、知障向けのが少ないように思う。継続したものでなくても、単発1日だけのもの等でもいいので、開催してもらいたい。小学生向けとか中学生向けとかあってもいいと思う。またサークルみたいのがあったら紹介してもらいたい。
- 学校を出て働くときに、こうゆう子どもたちが働く会社があるかどうか、またどうゆう所に話を聞いたら良いかわからない。

【雇用・就労について】

- 漠然としていて何を書いてよいか分かりません。ただ、もうすぐ高校、社会人…自立への道がひらけているよう願うばかりです。就労できるか、生活できるか、それがわからない今、漠然とした不安があります。その時々にならないと、先がハッキリ見えないです。(10代)
- 一般就労も考えたいようですが、ちょっとした声かけで傷ついてしまう面もあり、企業やその従業員の理解が何よりも必要だと感じています。行政としてしっかりと指導をしてほしいと思います。ジョブコーチが充実してほしいです。(30代)

【社会参加について】

- 福祉サービスがこんなにたくさんある事を知らなかった。障害を持っている親に対して、そのサービスの説明をしてくれる機会や場所があれば、サービスをうけたいと思った。(20代)
- 坂戸市に障害者が利用しやすいプールがありますが、オアシスはまだ使いにくい。(30代)

【住みよいまちづくりについて】

- 川越市は歴史と伝統のある魅力ある土地ですが、道路がせまく、歩道がないところも多く、歩行も自転車も自動車も全てこわいです。(10歳未満)
- 災害があっても避難所へ行く事は現実無理なので、家か車中生活になると思います。考えただけで頭が痛いです。(30代)

【福祉サービスの充実について】

- 今本人は入所施設に通所通っていますが、いずれ入所施設かグループホームなどにお世話になると思います(本人は家がいいと嫌がっています)が、私たちも年があと3年もすると80才にもなります。どうやったらいいかと悩んでいます。(50代)
- 1年半後の相談所で行う検査によって療育手帳がおりないかもしれない。そうすると自費で通所施設に通うことになり(週1回)、金銭的にとても厳しくなってしまう。子どもの成長は喜ばしいことなのに、成長すると負担が増える仕組みはどうかと思う。(10歳未満)
- 身障者への取り組みと、知的障害者への取り組みに対して少し差があるように感じます。点字ブロックやエレベーター等、物質的改善は目に見えて変えられますが、知障者に対する人員の増加や配置等は、予算の関係で先延ばしや困難と言われる事が多く感じます。オアシス等の利用も社会人になってからは少なくなっていました。受講できる講座も以前より比べると少なくなっているように感じます(特に知障者)。(20代)
- 日中一時、移動支援、ショートステイ等のサービスも利用されている方はもちろんありがたいと感じている方は殆どかと思いますが、突発的な理由で利用を希望した際に断られるケースもあり、ヘルパーが少ないのかとも思いました。いくつか契約をしていますが、そのような時もあるので、身内で何とかするには困難な事もありました。やはり増設されないと無理なのでしょうか?(20代)
- 特別支援学校を卒業したあとの行き先がありません。医療的ケア(吸引)が必要なため、ケアが行ってももらえる施設が少ないうえ、どこも定員オーバーな状態です。学校でたくさんの人と交流をはかることが出来たのですが、卒業後の行き先が無いとなると、毎日自宅で家族とすごすことしか出来なくなります。ぜひ、医療的ケアがあっても通うことの出来る施設を増やしてください。(10代)
- このアンケートで初めてこんなに多くの福祉サービスがあることを知りました。受けられるサービスは受けたいと思うのですが、どのサービスが受けられる対象なのかなど全くわかりません。1人1人の対象者に何か案内あるといいと思います。(10歳未満)
- 公的入所施設の充実、新設。親の高齢化に伴い生きる場がない。(40代)
- 親が高齢になり、介護、手助けがむずかしくなります。本人は1人ではほとんどなにも出来ません。家族と一緒に暮らしたいようです。施設は嫌がっています。親と一緒に入所施設があるといいと思います。(40代)
- 娘は入所施設に入り、昼間は作業所に通っています。しかし親の手を離れたかというとうと40歳を過ぎてもまだまだ親の活動等でやっていかななくてはなりません。入所施設や作業所の厳しい運営を支えるための資金や、次の施設づくりの準備金など、親はチャリティコンサートやバザー、土日の販売等、息をつく暇もありません。きちんと人間らしい暮らしをさせたいと思うとお金がいります。市はどうか資金的な援助をしてください(40代)
- ウエスタ川越のホール利用料等は障害者団体は減免してください。必死にチャリティコンサート等をやっているのに、そこから高額の利用料をとるなんてあまりにひどすぎます。(40代)
- 入所施設もっと率先して市が整備してください。まだまだ入所を待っている人たちが大勢います。(40代)
- 5歳の年長の子がいます。兄弟の行事(土日)と一緒にいくことが難しくなってきたので、土日の預かりサービスの向上をお願いします。(10歳未満)

- 成年後見制度について。本人名義の預金があった方がいいのか、いつ使えるお金が必要なのか、後見人は今後行政の方ではNGなのか。知りたいことは沢山あります。費用のかかる成年後見制度なので、利用をためらわざるを得ない人もいるはずです。(10代)

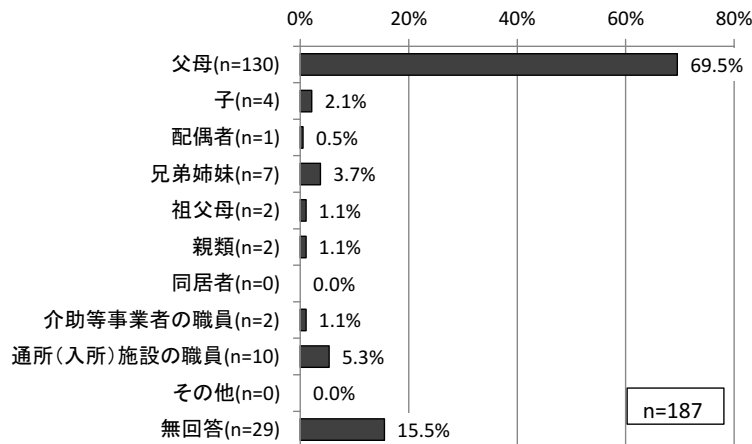
【その他】

- 本人が重度知的障がい者のため、質問と、代理人として受け止める気持ちに、かなり差異を感じる。質問の37~42くらいは、答えようもないものを感じる。質問の27は就労しているといったが、年間3万円程度の収入で、しているとっていいか。(50代)
- 本人は買物に無理が有り(小銭の使い方)、付き添いして買物し、出納に記入をし、1ヶ月に1回担当CWが確認にまいります。一人で行動すると地理が頭に入っていないので、施設の用事の時でも、ドライブがてら連れていきます(気分転換)。(60代)
- 問39は専門すぎてどういう内容なのか、利用しているもの以外にはちんぷんかんぷんだらう。説明があっても良いのではなかろうか。(60代)
- 自閉症新聞に6年前に脳が死んでいて、目からおぼえるだけ、だから365日同じことの繰り返し、うちの子は母親が生理を見せ、父はズボンを下げないで尿を見せ、言っていることがわからないので、体でおぼえさせる。脳はいつも0才児ですので。(30代)
- 身体障害者の事の調査が多く思いました。(30代)
- 本人に回答できる能力(知的)がないため、親が回答しました。今心配なことは先の事ですが、65才問題です。介護保険が適用になったとき、現在の入所施設から出され、行く所(介護施設、老人ホームとか)があるのか、今の入所施設と同じように65才になっても受け入れ先があり、サービスが受けられるのか心配です。この時、親は他界しておりますので、受け入れ先が仮にあったとしても障害者年金でまかなえるかどうか心配です。(40代)
- 問39は該当する内容がなかったので記入できませんでした。(30代)
- この頃は近所に迷惑をかけることも多くなり、施設に入れたいのですが、350人くらいいると言われ、いつ入れるのか、一日でも早く入れたいと思います。(30代)
- 一人で美容室や歯医者に行けないのでどうにかしてほしい。(20代)
- ・僕が楽しみにしていた長瀬のしらとりがなくなったのは辛かった。復活してほしい。 ・ピコアのプールのトイレはウォシュレット使えるようにしてほしい。なぜかプールのトイレだけが使えない。 ・母が病気になったら、ボケたら、成年後見制度すぐに必要です。 ・グループホームは深夜テレビの音がうるさいので、ホームの責任者に言ったが注意しないでほっておかれた。(30代)
- いつもお世話になっております。今は施設(光の家療育センター)に入所をしながら特別支援学校に通わせて頂いているので、不便なことやすごく困った事はないように思いますが、やはり学校を卒業した後が心配という気持ちは、入所でも在宅でもよく聞きます。学校を卒業してからの方が長いですし、学校のように卒業がないので、通所施設はどこもいっぱいですし、医療ケアのあるお子さんは更に受け入れてもらえる所も限られてしまうとの事です。入所施設ですと卒業後は活動がどうしても減ってしまうので、学校卒業後の生活が安心してむかえられるような環境ができればと思います。あとは18歳を過ぎると手帳や装具の申請が遠い所に行かなくてはならないので、近い所でできるとありがたいです。親だけでなく、学校の先生や施設の職員の方々の方々の負担も減ると、きっと障害のある本人も心地良く暮らせると思うので、関わって下さる方々の職場の環境もよりいっそう充実するといったと思っています。(10代)
- 病気の都合で1週間に1日でも外に出て行かれる場所があると良いと思います。(30代)
- 障害の子どもと二人でくらしています。私も年で子どもを残して死ぬ事が一番の心配です。考えると胃がいたくなる思いです。遅くなりすいませんでした。(40代)

ご家族や援助（介護や手助け）をされている方へ

あなたの立場（調査対象のご本人との関係）は次のうちどれですか。（○は1つ）

調査票対象者との関係については、「父母」が69.5%と最も高くなっており、約7割の方が回答しています。



毎日の援助の中で気づいた問題点や、市へのご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

【差別解消及び権利擁護について】

- 障害者権利条約の批准にともない、一人一人への特別な支援、合理的配慮をする必要があるにもかかわらず、いまだに障害のある人は市民と同等の暮らしにはなっていない。その背景には、未だに障害のある人への差別的な意識があると思われる。また憲法 25 条、基本的人権が守られているのかの問題もあると思う。（通所(入所)施設の職員）
- 病院での待ち時間の長さによって待てない息子をもつ母親は、周囲の目、言動にとっても敏感になり、行くのが嫌になります。病院の先生の態度も冷たく感じる時があります。周囲の人々は自閉を全く理解をしていない人が多過ぎです。もっと学校（普通）でも、そういう人たちがいるということを教育してほしいです。大人も子どもも理解が無いと、私たちは行き場がありません。（父母）

【保健・医療サービスについて】

- 障害のある人たちが生きていくうえで安心してくらしにいけるような制度。病院も専門性のある医師、病院を増やしてほしい。ひとりで行けるようになりたい！（近くにいい病院、みてもらえる病院がない）（父母）
- 川越市内で就学児童、生徒の機能訓練（PT、OT、ST）が出来る医療機関が無いので設置をお願いします。（父母）

【教育について】

- 息子5才は3才のときに川越市に転居してきました。3才のときに一番困ったのは市内の幼稚園で発達障害児を受け入れてくれそうな園いくつか問い合わせ、見学などさせていただきましたが、全て入園を断られてしまいました。公立の保育園だけでなく幼稚園においてもインクルーシブ保育が当たり前になるためには何が必要なのか？考えさせられます。（父母）
- どの公立小も通常級でどんな障害の子も受け入れるのでなければ、せめて全ての小学校に支援級の設置が必要だと思います。障害者が差別されない社会であるためには、幼児の頃からのインクルーシブ保育、インクルーシブ教育が必要だと思います。昔からある大型の入所施設でなく、地域の中で障害があっても安心して生活できるような社会が実現してほしいです。福祉サービスの充実も大切ですが、ボランティア等マンパワーの充実、人々の意識の変容など、教育が重要なと思っています。（父母）

【雇用・就労について】

- 知的障害のある子が、その子にあった就労ができるよう職場を増やしてほしいです。(父母)
- 就労センターの紹介で一般企業で働いていますが、職場での悩み、相談をもう少しでいねいに聞いてもらいたいと思います(事務的すぎます)。今は問題ありませんが、将来がとても不安です。(父母)

【社会参加について】

- バスの料金をわかっていない運転者さんがけっこういるので困ります。同じ区間で行きと帰りの料金が違ったり、訂正してもらったり。障害者の運賃と介護の人の運賃をきちんとわかってほしい。(父母)
- タクシー券が初乗りにしか使用できない券では毎回追加料金が発生してしまい、結局券は余ってしまう。他の地域では500円券、100円券という所もあるので、是非その様にして頂きたいです。ガソリン代に変えると毎月1,000円というのも少なすぎると思う。25年前朝霞に住んでいたが、その当時でも月2,000円か3,000円でした。20年以上前の他の地域より低いなんて、川越市は他の地域の事を知らないのかと思ってしまう。(父母)

【住みよいまちづくりについて】

- 気軽に参加できるような教室、交流の場、趣味の活動の場が各地域の身近にたくさんあれば、地域で安心して暮らせる町作りができると思います。「福祉の町 川越」といえる町作り、人作りを充実させて、親亡き後の人生を選べるようにしてほしいと願っています。(父母)
- 狭山市との境目あたりに住んでいます。歩道があってもその幅がせまかったり、ガードレールもないような場所がとても多いです。狭山市側は歩道の幅が2mくらいあるのに、川越市に入ったら50cmくらいしかない…。子どもが大きくなり、学校へ単独で通うようになることがあっても、これでは安全に通えるのか不安になります。大きなトラックがひんぱんに通るような道などはとくに、もうすこし歩道を広げてほしいです。(父母)
- 子どもの社会性を育むためにも施設の増設や拡充の推進をお願いします。また、川越市街の歩道の整備をお願いします。交通量がどの道路も多いので、車のみならず自転車との接触の心配があります。自転車レーンの設置など歩行者が安心、安全に通行できるように整備をお願いします。・R254の小仙波交差点の右折信号の時間をもう少しのばしてください。直進の交通量が多いため、右折信号点灯時にしか右折出来ないため、時間が短いので朝の通勤、通学時間はとくに混雑している。(父母)
- 市の中心部のみではなく、外れの方の道路の整備(水たまり、排水溝)も早急に進めてほしいです。(父母)

【福祉サービスの充実について】

- 一人親の際の手当ての基準が厳しい。朝9:00～帰宅23:00頃まで。現状祖父母がいるので働けるが、いなくなったら仕事ができなため生活費が厳しい。(父母)
- 具体的なサービスなどもっと情報がほしい。知ってる人だけが得をするのがおかしいと思う(行動した人、調べたり情報収集できる時間のある人)。以上、改善お願い致します。
- 私の子どもは療育手帳のCです。しかし、実生活の中では軽度であっても、健常の子と同様にはすごせません。学校への登下校も1人では出来ません。必ず家族がつきそいます。支援をお願いすれば実費です。そのようなお金の余裕は我が家にはありません。小学校の時にお願いしていた放課後デイも補助金があっても時間が短く、中学ではお願いできなくなりました。自宅の近くでは同様のサービスを行っている施設が無く、とても困りました。(父母)
- 日常の中でどれだけ介護が大変でどの様なサービスを増やしたらもっと生活しやすいのか、耳をかたむけて下さい。今のサービスの1つ、ガソリン券 年12,000円は、1ヵ月＝¥1,000です。学校や市外への病院へ行ったりを考えるとまったく足りません。(父母)
- 通所施設がなかったら、もう一日することなく廃人になってしまったであろう。良い援助は続けて欲しい。施設職員のがんばりの為にも、給料を上げて優遇すべきだと思う。(兄弟姉妹)
- 学校を卒業すると、これまで支援いただいている放課後デイや様々なサービスが受けられなくなり、

親としても夕方早く帰ってくるため、通常の仕事ができなくなるなど、非常に将来に不安を感じています。障害者の福祉についても夕方のサービスを検討していただくなど、サービスの充実を図っていただきますようよろしくお願い申し上げます。(父母)

■施設入所している者ですが、毎週2泊3日の帰省をしています。その際おむつ等(紙パンツ他3種類)が必要になります。在宅時は援助して頂いていましたが、入所してからはおむつ等は施設の方へと聞いていますが、帰省時の援助をお願いしたく思います。(父母)

■子どもにいただいている手当て(お金、オムツ、ガソリンなど)全体的に足りていません。障害があるためいろいろな事、物に、たくさんお金がかかります。見直していただきたいです。(父母)

■65才問題に対応するための施策を今から(なるべく早期に)将来を見据えて考えて欲しい。現在3年に一度区分の手続きをしていますが、子どもの頃から40才台に至るまで普通の人になれる訳もないし、そんなに変わるものでない。親としてはその度に入所施設からはずされたらどうしようと不安であります。(父母)

■暮らしの支援をする人手が足りていません。夜間ももっと人の手が必要ですが、福祉に人が来ません。もっとたくさん福祉で働く人が増えるよう、啓発活動、また安定した収入を保てる様な手立てをお願いします。福祉で働く人がいない事は、結果、障害のある方の生活もせばめていく事になります。(通所(入所)施設の職員)

■親が介護出来る間は精一杯頑張っている。親が介護出来なくなった時、安心して子どもが生きていけるのか、サービスの種類は多いが、ひとつひとつハードルが高く使いづらい。ヘルパー、施設の職員の常時人員(人手)不足を解消する為に、一刻も早く対策に取り組んでほしい。(父母)

■福祉に対する支援がどんどん少なくなっている。入所施設やグループホームが足りていない。、生活の場が少なすぎる。地代を補助してほしい。(父母)

■自閉症の息子も来年は32才。親は60を過ぎようとしています。息子の行く末が心配です。問題行動が多く、パニックになると心配です。安心してすごせる暮らしの場。やはり入所施設が早くできてくれないか?心の底よりまちのぞんでいます。(父母)

■息子は重度の障害なのですが、将来的に家族だけでは息子の介護が難しくなってくると思っております。しかし市内には重度障害者を受けられる施設が少ないため、急な用事(1ヶ月前でも)の時、施設に預けられず、結局年老いた実家の両親に預けなければならない状況ですので、重度障害者が安心して過ごせる施設をつくっていただきたいです。(父母)

■障害者年金を受けられる様にして下さい。書類をそろえるのも大変です。書類をやっとの思いでそろえても、年金窓口にいる人によって言う事が違い、何回も行ったりしなくてはならないです。それで結局不支給になります。仕事につけない状態であれば、年金も受けられる様にお願いします。(父母)

■こちらが聞かないとどのサービスが使えるかも教えてもらえない。小さい頃からきちんと地域の担当者を決め、家族にアドバイスや相談をしてくれると助かります。障害のある人は自分で情報を入手できない方もいるのに、自分で申請しなければ、サービスを利用できない家族が聞かなければ教えてくれないのはおかしいと思います。(父母)

■将来、入所施設に入所させたいと思っています。現在入所施設は入所希望者を受け入れるには十分な数ではなく、順番待ちの状態です。ぜひ入所施設の整備をお願いします。また将来の入所のための訓練として、短期入所を体験できる施設の整備もお願いします。(父母)

■グループホームへの入所を希望しています。以前短期間ケアホームに入りましたが、周辺環境と合わず退所しました。今の通所施設へ自分で通えるホームを探していますが、難しいのが現状です。親が高齢化していく中、本人の将来の生活をどうするか、いつも不安に思っています。(不明)

■どこにも受け入れてもらえなかった障害者が、自治体を介して、川越市内の福祉法人に受け入れを求められている事例が非常に多い。それによりすでに所属している障害者たちが受けられるはずのケアが、十分に得られていない。支援の質も大きく下がり、危険をとまなうことも多い。何より住まいの場を待ち続けている者をさしおいて、割り込み入所されている状況は理解しがたく、たえがたい。市は厚労省の上げている「障害者の住まいの場の確保について」に添い、グループホーム、ケアホームの整備促進に尽力いただきたいと切に願う。(父母)

■家族も高齢となってきました。又健康面も不安をかかえています。できるだけはやく子どもの入れる入所施設をつくっていただけるとありがたいです。親亡きあとのことが心配です。(父母)

■ほうき星初雁作業所に通所している39才息子の母親(64歳)です。毎日発作がある為、ほとんど見

守りや介助が常です。ショートは利用したいのですが、安心して預けられる施設がないのが現状です。サービスはたくさん頂いているのですが、利用出来ないサービスが多い為、本人の姉（娘）にお願いして助けてもらっています。一日でも長く家庭で一緒に暮らしたいと、家も数年前にリフォームをして、介護しやすいように直しました（知的障害の場合、リフォームの援助なしでした）。親が出来る事はいろいろ考えていますが、問題が山積みです。（父母）

- ショートステイをお願いしたいと思っても、入所施設が潜在的に足りないため、ロングステイの利用者が優先されなかなか部屋が空きません。また子どもが通所している作業所の現場を見ても、正直グループホームでは対応が難しい利用者も少なくありません。私たち親の立場では、自分たちが亡き後の子どもの住まいが喫緊の課題となっております。川越市の障害者支援計画の見直しの際、設備と人材の整った入所施設の定員増、新設、増設を是非とも重点項目に入れて頂きますようお願い申し上げます。またグループホームの方も、現状では物件探しでとん挫している状態です。こちらの方も大家さんや地主さんのご紹介、不動産会社への啓蒙、地代補助等、行政の方からも積極的に働きかけて頂き、障害者計画の中にもそうした制度を盛り込んだ内容を載せて頂きますよう重ねてお願い申し上げます。（父母）
- 現在自宅で生活し、パート勤務が可能ですが、身体機能低下が着々と進んでいます。転倒が多いため手すり等は付けていますが、バリアだらけ（段差だらけ）の家を改修することは難しく、数十年後かもしれないですが将来的に入居できる施設があると安心です。（兄弟姉妹）
- 支援学級の人数が増えているのに教室が足りていない。市から県にも伝えてもらいたい。また、生活支援 150 時間を無料にしてもらいたい。（父母）
- 高校卒業後、余暇の場をオアシスだけでなく川越に沢山作ってほしい。通うだけで大変。（父母）
- 障害児介護中ですみたくない首から下げるようなものがあれば、変な目で見られる事も少なくなるのかと…。（父母）

【その他】

- 療育手帳、身体障害者手帳の申請の際、障害基礎年金についての話（申請の時に必要な書類、手続の方法等）をして頂けると助かります。申請をもう少し簡易的に出来るといいのですが…。（父母）
- 親が死んだあとの本人の事が、すべての親の心配事です。親亡き後も、本人が安心して穏やかに暮らせるように障害者施策の充実をお願いします。（父母）
- 福祉課の職員の方の対応について→・くわしい方とあまりよくわからない方がいらしたので（以前の話です）。・障害者にとって受けられるサービスが調べるといろいろあるので、情報を提供していただくと助かります（川越市のしおりを見ているいろいろわかりました）。（兄弟姉妹）
- 介護者として障害児の将来の行末考えると、どうしていいのか判断できなく不安である。もし急遽の事例が起きた時は、行政のどこに相談し、介護者に代わって担当をみてくれる部署が確定していただくこと。（父母）
- 福祉サービスの申請等に市役所の窓口へ行くのが大変な時もある。簡単な時は市民センターの活用もできたら良いのと思う時もある。（親類）
- 家族等の援助が期待できなくなっても、障害者本人が幸せに暮らしていければよいと思います。（父母）
- 気持ちに波があるので様子が変わると行動があらくなるので、なるべく穏やかになる様に努力している。他人との交流が出来ないと就労も考えられない。（父母）
- 大便が間に合わず、パンツ、ズボンの中に出てしまう（対策として出勤前に大便をしてから家を出ること）…失敗する事あり。毎食後：出なくてもトイレに行く習慣をつけたい。（父母）
- 今は家族（父母）と暮らしているが、この先どうするの？と言われても、先延ばしして考えるしかない。親が亡くなっても安心という道すじがあれば、落ち着いて今を生きられる。（父母）
- 両親が高齢なので、知的障害者なので、身の回りの事何一つ自分でできないので、将来のことを考えると不安です。現在は施設に通っています。（父母）
- 子どもに援助している人が急に入院してしまった為、市の職員の人はずごく親切に色々と考えてくれた人もいたのですが、そっけない人もいて、そっけない人にあたった時は悲しくなりました。（通所（入所）施設の職員）

- 施設に入所しています。年金の中から食事代や光熱費などを支払っているのですが、私の子どもは服ばかりやぶいて、医療費がすごくかかります。なので年金だけで生活している子どもは減らされてしまうと生活できなくなってしまいます。年金は減らさないで下さい。(通所(入所)施設の職員)
- 持っているみどりの手帳が、毎日バスに乗る時に出して見せる為ボロボロで、写真も名前も認識できる状態ではありません。できたらプラスチック(銀行カードのような)で顔写真付のものになりませんか…?(父母)
- 今は5年生ですが、まだ夜おねしょをする事があります。夜8時にねると、2回おこします。同じ友達に聞いたところ大丈夫と言われちょっと安心してはいますが、今はまだ不安です。(祖父母)
- 本人は表現するのが苦手で、身体の不調や自分の生活に不都合な事が起きると離れて暮らす母へSOSの電話をしてくる。現在50才でも同じ。本当に親が亡くなった時に誰に?と思うと心配が思い(現在グループホーム在住)。(父母)
- 療育手帳を持っています(中学2年生です)。5年前に取得しましたが、その際に手帳の存在を知りませんでした。当時4年生でしたが、もう少し早く知りたかったです。また、面談から取得までかかりすぎるといふこと、もう少し短期間でできればいいと思います。小学4年生の時、児童相談所の担当の方はとても感じが悪く、いやな思いをしました。(父母)
- これから高校進学にむけて今はいろいろ悩んでいます。支援学級の先生たちもいろいろな情報をもっと勉強して、相談にのってくれるといいと思います。(父母)
- 今の生活で問題はないですが、親がいなくなった時、兄が遠くに住んでいますのでどうすればいいのかわかりません。どこに相談すればいいのかわかりません。(父母)
- 外出時以外は部屋に閉じこもり、誰ともほとんど口をきかない。テレビも全然見ないし、ラジオを聞く事もなく、唯ぼんやりしているのが常。(父母)
- リオパラリンピックなどでやっと障害者がひとつの個性を持っていると認識されてきた様に思えますが、まだまだ啓発などが足りないと思います。相模原障害者施設のような事件を川越で起こさせないためにも、地域住民の理解を深める活動に力を入れてほしいと思います。(父母)
- このアンケートとは逆に、家族に障害者がいない世帯に「障害者と地域について」のようなアンケートを実施して下さると、色々な事が見えてくるのかなと思いました。ご近所で障害に理解がない方がいらっしやると、毎日の生活の事なのでとても辛いです。全てを受け入れてほしいわけではありませんが、温かい目で見守っていてほしいと思います。(父母)
- 自立支援。精神障害等更新の時、本人は手続きがむずかしいので、郵送出来る親としては助かります。私、母ですが、親も年を重ねると大変になります。(父母)
- 私も高齢なので、市の方と話し合いがしたいと思っています。(父母)
- 母は入院中です(父母)
- 課がたて割りになっているので、連携をもっと密になってほしい。手続き等が面倒だったりすることがある。(父母)
- ことばに理解が出来なくて説明しなければならない。(父母)
- 知的障害者で入所を希望する者は担当数おられると聞いているが、その入所の順番や管理はどのようになされているのか。以前入所希望施設を登録したことがあったが、その後あまり情報は伝わって来ない。実際問題として親が死亡するという究極の状況にならない限り、入所はないということなのか。(父母)
- 息子は一人で美容室や歯医者(全般に医者)に行くのが厳しいです。外出も一人では行きたがりません。身近に話が出来ると年代位の子がいなくてつまらないとも言っています。親も先生もデイケアを勧めているが、本人にとってみればそこに行く事もむずかしい様です。親としては自立してほしいのですが、なかなか上手く行きません(ちなみに作業所に体験も行きました)。(父母)
- 父母以外頼れる人がいないので、将来に強い不安があります。同じ障害を持つ方はどんな人生を送っているのか知りたいです。しかしプライベートなことですし、聞ける知り合いもおりません。こういう選択をするとうような学校、就職があり、収入はこれくらいになるなど、具体的な例がほしいです。(父母)

- 支援学級にいても、先生の理解を得られない事があり、とてもショックでした。発達障害は人それぞれなので、難しいとは思いますが… (全ての先生という訳ではありません)。療育手帳Cだとあまり支援が受けられないので、金銭的に親が死んだ後が心配です。生活保護にたよる他ないのか今から心配しております。(父母)
- 後期高齢者なので将来が心配です。(父母)
- 自立できない子どもは、親亡き後、生きる場がない！(父母)
- 私が死んだ後、ボケた時、青年後見人の方がすぐに対応して生活できるようにしてもらえるか心配です。お金の管理など。(子)
- 災害時に避難所では大きな声で騒いだりする可能性があるため、自宅や車の中での避難生活になると考えられ、大きな心配事になっています。(父母)
- 作業所への通所を希望していますが、体調に波があるため、医師より週一回でOKが出ても受け入れてくれる場所がありません。作業所のスタッフの配慮に疑問を持つ事もありました(言葉の暴力等)。(父母)
- あけぼの児童園の先生方にとっても救われています。わからないことを相談するとすぐに答えを下さり、感謝しています。(父母)
- すべてを母親が援助していて、将来の事を考えると気が重い。いろいろな福祉のサービスを上手に利用して、障害者が楽しく生活できるように願うが、親の力不足で行動に移せない。複雑な思いのまま日々を送っています。(父母)
- 医療機関や福祉の窓口で本人の実態や気持ちを代弁しているつもりですが、実は足りていないと思っています。本人が直接自分の気持ちや体調を伝えられるのが一番良いのですが、それが出来ません。より多くの選択肢があり、本人が選べる工夫がもっともっといろいろな場面であるといいなと思います。そして家族は一人でも本人の理解者を増やしていきたいです。(父母)
- ほぼ寝たきりなのですが、訓練すれば(何もできませんが)手を使ってジュースを飲めるようになれば助かります。(どこか訓練する場所があれば紹介して頂けないでしょうか？)(父母)
- グレーゾーンの子どもが通えるような塾(勉強、運動、ピアノなどの音楽など)があると助かります。子どものやる気にもつながると思います。もっと上手なやり方(教え方)があるのではないかと、専門の方の知識を日々欲します。(父母)
- 市の職員は予告なしに訪問し、物言えぬ認知の人達の階に行って現状を見るといいと思います。介護する人の大変さ、介護されている人の心(認知の人でも話をしたり歌ったり、毎日の生活に変化を求めている)にふれて下さい。また、訪問者が少ないので、清潔な状況か？保健衛生面も部屋に入って見るといいと思います。(兄弟姉妹)
- 姉は国の政策で、65歳以上は障害者施設から介護保険利用の特養に入っていますが、今回の改正で、利用料が64,000円から87,000円になり、障害者年金ではまかなえません。とても大きな負担増なので、障害者の扱いに戻してほしいと思います。生活保護も受けず、国の方針通りにしている人が大変な負担を負うのは納得がいきませんね。(兄弟姉妹)
- 今紙オムツの支給を受けていますが、非常に助かっています。(父母)